

電通総研コンパス vol.15

情報インテグリティ調査

2025年6月

➤ 本調査内容に関するお問い合わせ先
qsociety@dentsusoken.com
担当：山崎、中川、川村、合原



はじめに

電通総研では、「人びとの意識の変化がどのような社会を形づくっていくのか」を捉えることを目的に、定量調査「電通総研コンパス」をアドホックに実施しています。第15回となる今回は、「情報インテグリティ」をテーマに、2025年2月に全国の15歳から69歳までの計5,000人を対象に、日本ファクトチェックセンターとの共同調査をおこないました。また、国際大学グローバル・コミュニケーション・センターの山口真一 准教授監修の下、設問を設計しました。

「情報インテグリティ」とは、情報の正確性、一貫性、信頼性を指します（国連“Information Integrity on Digital Platforms” p.5、2023年）。このテーマは、人びとの日々の暮らしから国の安全保障に至るまで、あらゆる領域に関わる重要な課題であり、国際的にも情報インテグリティを確保するための取り組みが進められています。日本国内においても、近年、インターネット上の偽情報や誤情報、差別的な表現や誹謗中傷が深刻な社会問題となっており、情報インテグリティの重要性はより一層高まっています。本調査では、こうした状況を受け、人びとの意識を通じて現状と課題を把握し、情報インテグリティの向上に向けた示唆を得ることを目的としています。

調査概要

■ 調査時期

- ・ 予備調査（SCR）：2025年2月18日～2月26日
- ・ 本調査：2025年2月21日～2月26日

■ 調査方法：インターネット調査

■ 対象地域：全国

■ 対象者：15～69歳の男女

■ サンプル数

- ・ 予備調査（SCR）：20,000
- ・ 本調査：5,000

※予備調査で15個の偽・誤情報を提示^{*1}し、すべて「わからない・覚えていない」と回答した人を対象者から除き、いずれか「見聞きしたことがある」と回答した人を優先して
2025年1月総務省人口推計概算値より性年代別人口構成比に合わせて割り当て、本調査を実施

■ 調査主体：電通総研・日本ファクトチェックセンター

■ 監修：山口真一 准教授（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター）

■ 調査会社：電通マクロミルインサイト

予備調査（SCR）

年齢	男性	女性	合計
15～19歳	695	660	1,355
20～24歳	796	747	1,543
25～29歳	826	777	1,603
30～34歳	814	767	1,581
35～39歳	861	824	1,685
40～44歳	952	925	1,877
45～49歳	1,086	1,058	2,144
50～54歳	1,227	1,202	2,429
55～59歳	1,056	1,054	2,110
60～64歳	935	950	1,885
65～69歳	871	917	1,788
合計	10,119	9,881	20,000

本調査

年齢	男性	女性	合計
15～19歳	173	165	338
20～24歳	200	187	387
25～29歳	207	195	402
30～34歳	204	192	396
35～39歳	216	207	423
40～44歳	238	231	469
45～49歳	272	265	537
50～54歳	306	300	606
55～59歳	263	262	525
60～64歳	233	236	469
65～69歳	218	230	448
合計	2,530	2,470	5,000

^{*1} 予備調査で用いた設問は、p.53をご参照ください。

※グラフ内の各割合は全体に占める回答者の実数に基づき算出し四捨五入で表記しています。また、各割合を合算した回答者割合も、

全体に占める合算部分の回答者の実数に基づき算出し四捨五入で表記しているため、各割合の単純合算数値と必ずしも一致しない場合があります。

※本調査（5,000サンプル）の標本サイズの誤差幅は、信頼区間95%とし、誤差値が最大となる50%の回答スコアで計算すると±1.4%となります。

※質問文に記載した「MA」は複数回答、「SA」は単一回答を指しています。

調査結果サマリー

1) 誤情報がもたらす影響

誤った情報やニュースの存在により、約半数（48.3%）がストレスや不安を感じている

2) 誤情報との接触頻度とファクトチェックの現状、関連用語の認知状況

誤った情報やニュースを「毎日」見聞きすると感じている人は、SNSで31.8%、ネットニュースで25.9%、動画共有サービスで24.1%

一方で、47.0%が「ファクトチェックをおこなったことはない」と回答

情報インテグリティに関連するいくつかの用語について、「フェイクニュース（92.4%）」や「偽・誤情報（78.6%）」は高い知名度を示した

一方で、多くの人が知らないと回答したのは「フィルターバブル（81.8%）」や「エコーチェンバー（77.6%）」

3) 偽・誤情報の蔓延に対する責任の程度

偽・誤情報の蔓延に対して「全面的に責任を負うべき」主体として、「マスメディア（47.1%）」や「政府・自治体などの公的機関（44.7%）」が挙げられた

4) 情報の信頼性を担保するしくみへの期待

65.1%が「インターネット上にある情報には、信頼性を確認できる認証などのしくみがあるとよい」と考えている

5) 誹謗中傷の広がりとその対策

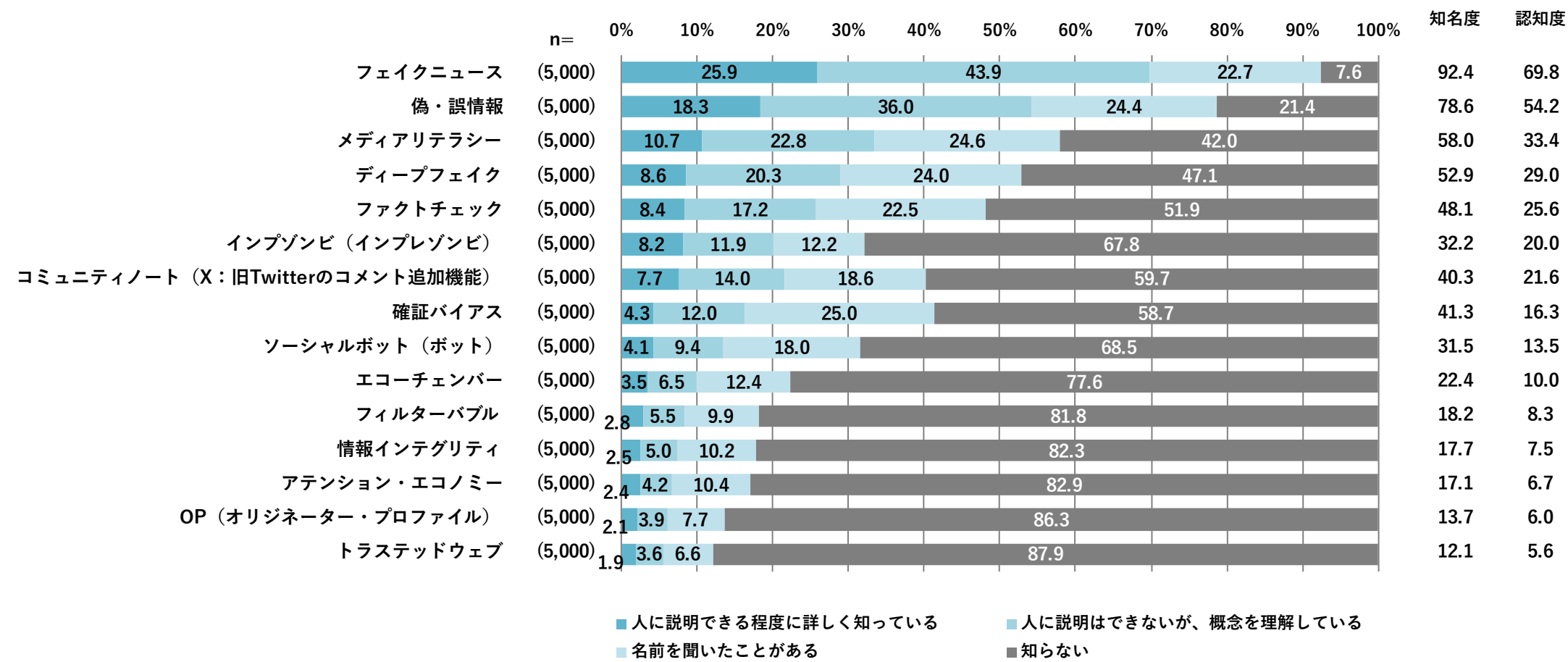
73.2%が「オンライン上の差別表現や誹謗中傷を見かける」、73.1%が「対応を強化すべき」と回答



調査結果

情報インテグリティ関連用語の認知状況

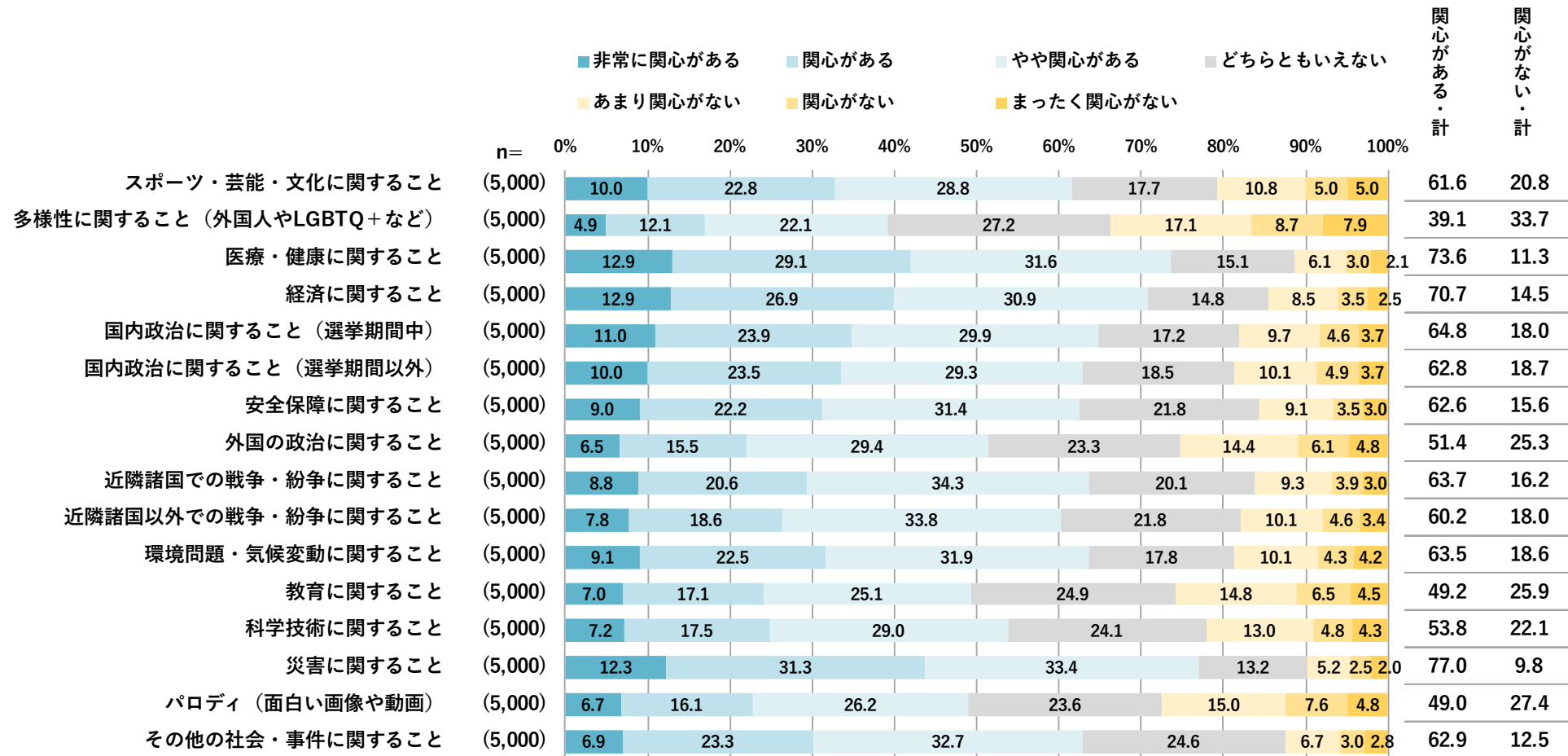
Q2 あなたは以下の言葉をどれくらい知っていますか。もっとも近いものを、それぞれ1つずつお選びください。（各SA）



※「人に説明できる程度に詳しく知っている」で降順ソート
※知名度：「人に説明できる程度に詳しく知っている」「人に説明はできないが、概念を理解している」「名前を聞いたことがある」の計
※認知度：「人に説明できる程度に詳しく知っている」「人に説明はできないが、概念を理解している」の計

話題への関心

Q3 あなたは、以下の話題にどれくらい関心があるでしょうか。（各SA）



※関心がある・計：「非常に関心がある」「関心がある」「やや関心がある」の計

※関心がない・計：「あまり関心がない」「関心がない」「まったく関心がない」の計

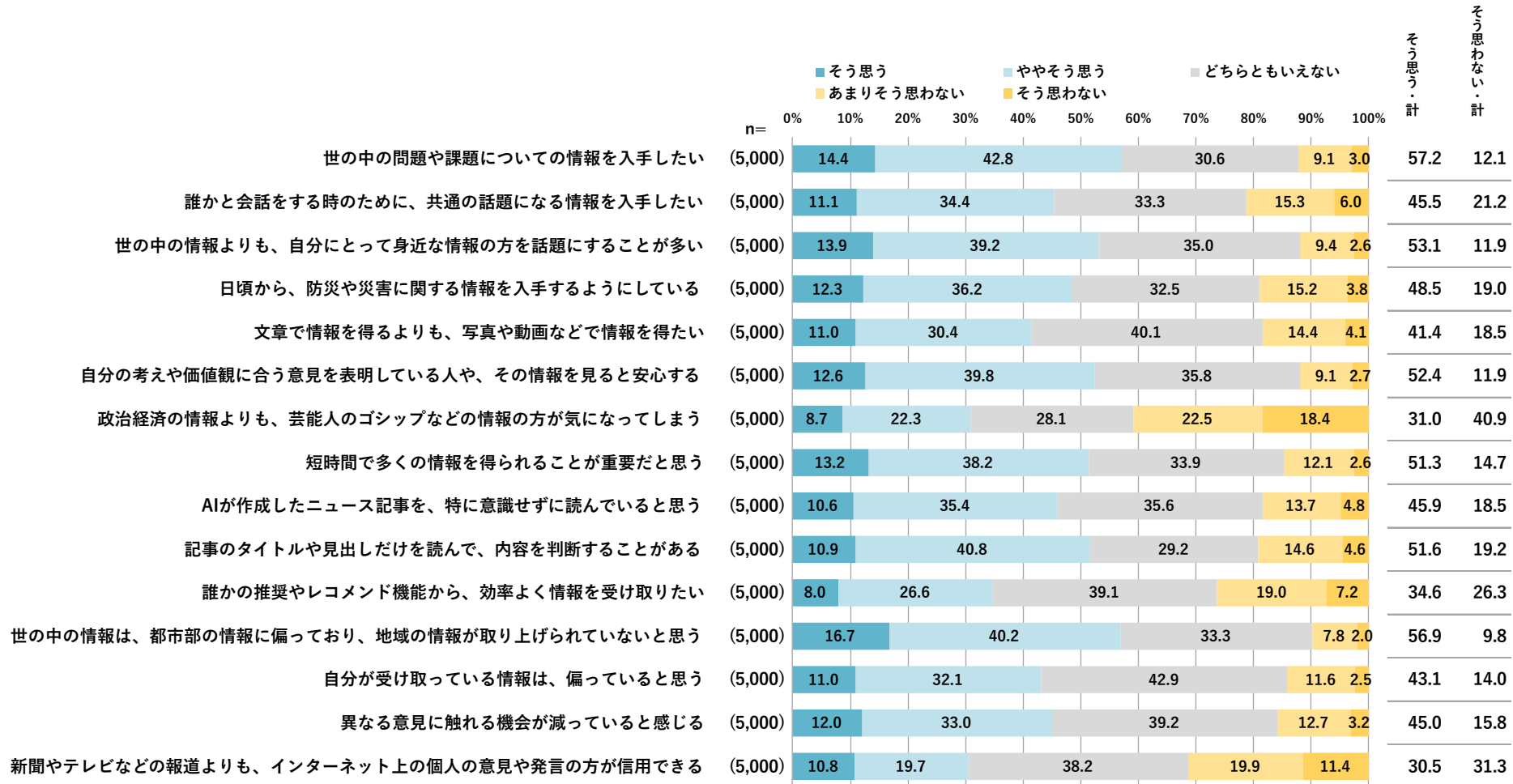
参考にする情報源

Q4 情報源についてお伺いします。あなたは以下の状況において、どのような情報媒体を参考にしますか。
それぞれあてはまるものをすべてお知らせください。（各MA）

		(%)										回答個数平均
	n=	テキストメインSNS（X（旧Twitter）・Instagram・Facebookなど）	動画メインSNS（TikTok・YouTube・ニコニコ動画など）	テレビ・新聞（ネット版含む）	ネットニュース（コメント欄含む）	メッセージアプリ	個人のウェブサイトやブログ、note（コメント欄含む）	家族、友人、知人との直接の会話	ファクトチェック記事	あてはまるものはない		
選挙での投票先を決めるとき	(5,000)	15.9	15.3	47.2	33.4	3.2	9.5	23.7	6.5	23.4		1.55
ニュース・報道の情報を得るとき	(5,000)	20.6	21.2	65.3	58.0	5.1	8.6	21.8	6.4	6.5		2.07
スポーツ・芸能・文化に関する情報を得るとき	(5,000)	22.1	23.1	55.0	50.0	4.4	9.7	19.9	4.7	14.5		1.89
災害情報を得るとき	(5,000)	23.2	17.8	65.5	56.1	7.0	7.7	24.4	5.2	7.2		2.07
病院や健康に関する情報を得るとき	(5,000)	16.2	17.3	41.9	40.2	4.3	14.8	34.8	6.2	17.4		1.76
高額な商品を買うとき（家、車、旅行、ブランド品など）	(5,000)	19.4	23.4	25.2	29.1	4.0	19.7	32.4	6.1	26.7		1.59
投資方法や投資先に関する情報を得るとき	(5,000)	13.9	17.9	26.8	28.5	3.8	13.1	16.7	5.6	40.0		1.26
食品の安全性に関する情報を得るとき	(5,000)	16.0	17.2	48.2	41.7	3.8	11.2	24.1	6.5	19.5		1.69

情報源やメディアに関する考え方（1/2）

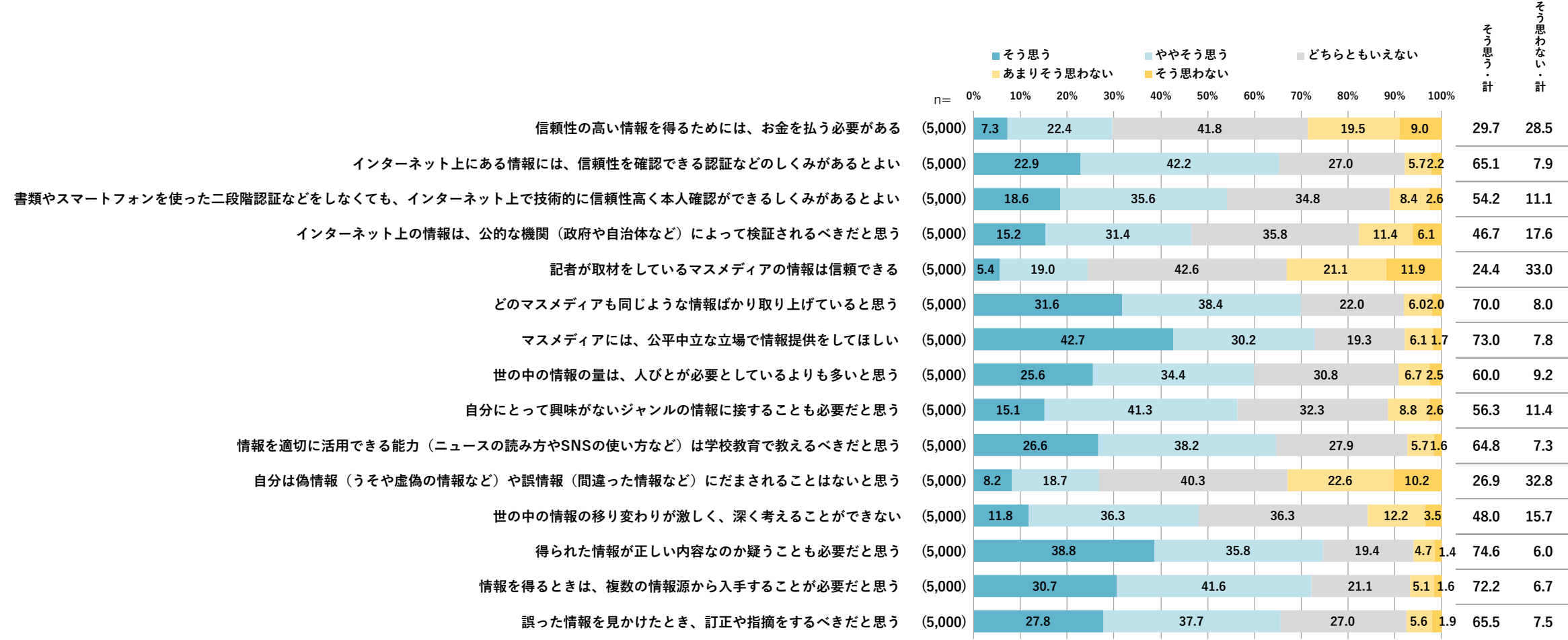
Q5 以下の情報源やメディアに関する考え方について、それぞれあてはまるものを1つだけお知らせください。（各SA）



※そう思う・計：「そう思う」「ややそう思う」の計
※そう思わない・計：「あまりそう思わない」「そう思わない」の計

情報源やメディアに関する考え方（2/2）

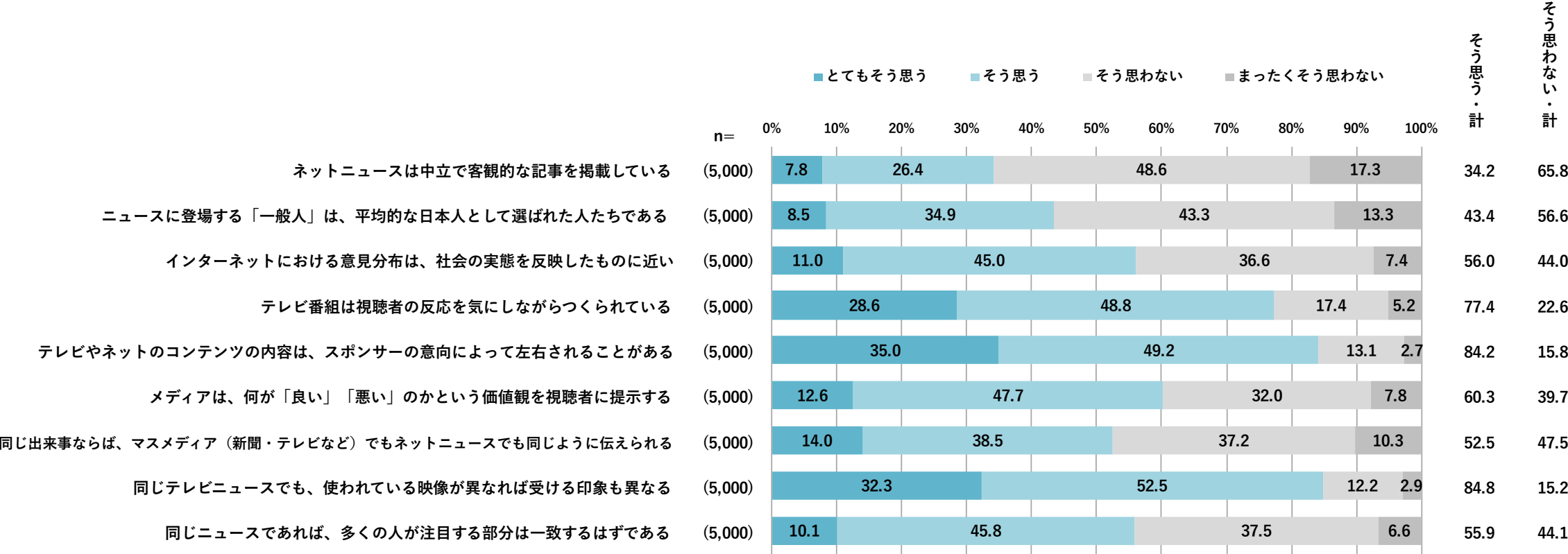
Q5 以下の情報源やメディアに関する考え方について、それぞれあてはまるものを1つだけお知らせください。（各SA）



※そう思う・計：「そう思う」「ややそう思う」の計
※そう思わない・計：「あまりそう思わない」「そう思わない」の計

情報・ニュースに対する考え

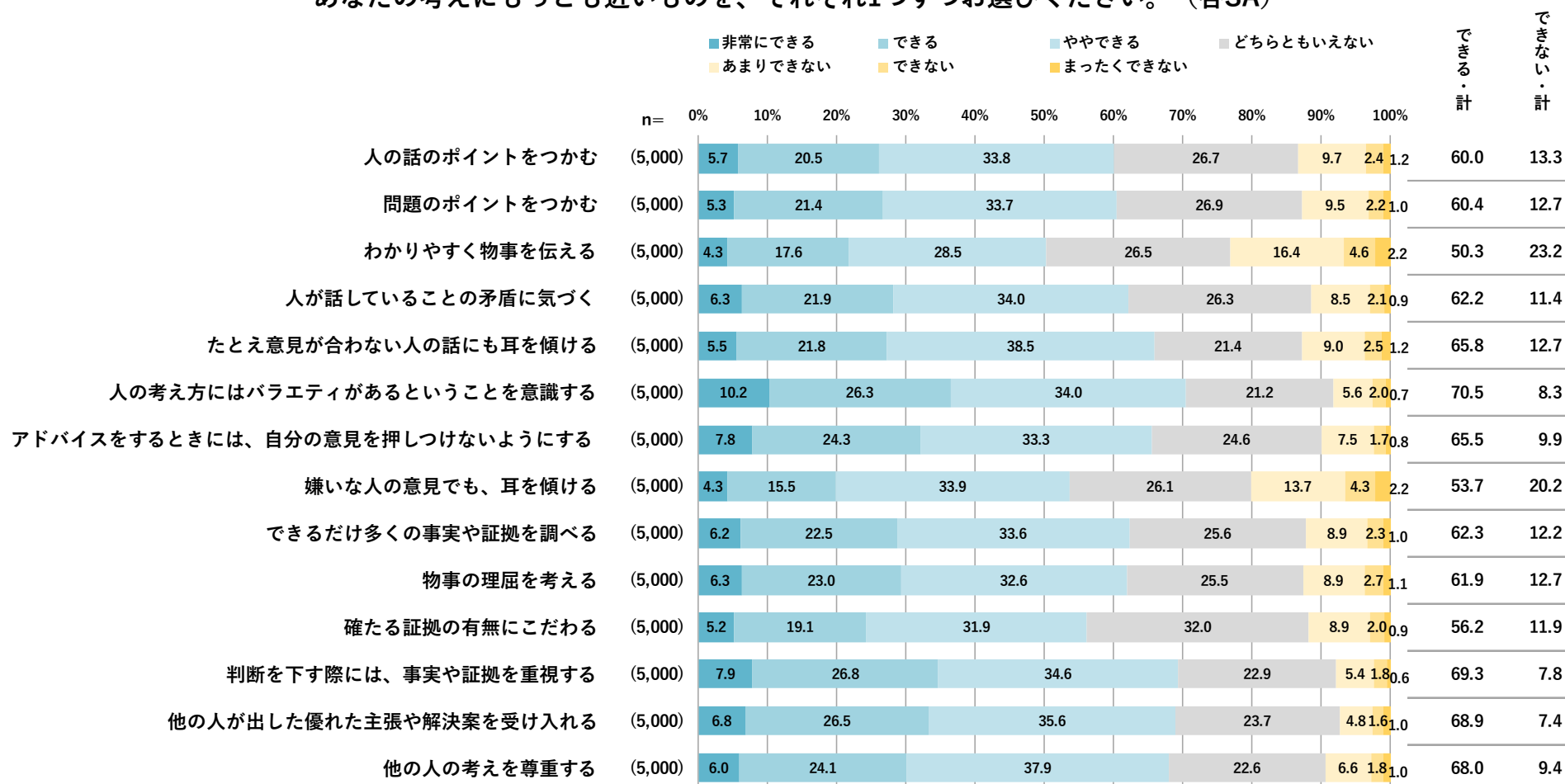
Q6 下記の項目について、あなたはどのように考えていますか。
あなたの考えにもっとも近いものを、それぞれ1つずつお選びください。（各SA）



※そう思う・計：「とてもそう思う」「そう思う」の計
※そう思わない・計：「そう思わない」「まったくそう思わない」の計

情報に関してできること・できないこと (1/2)

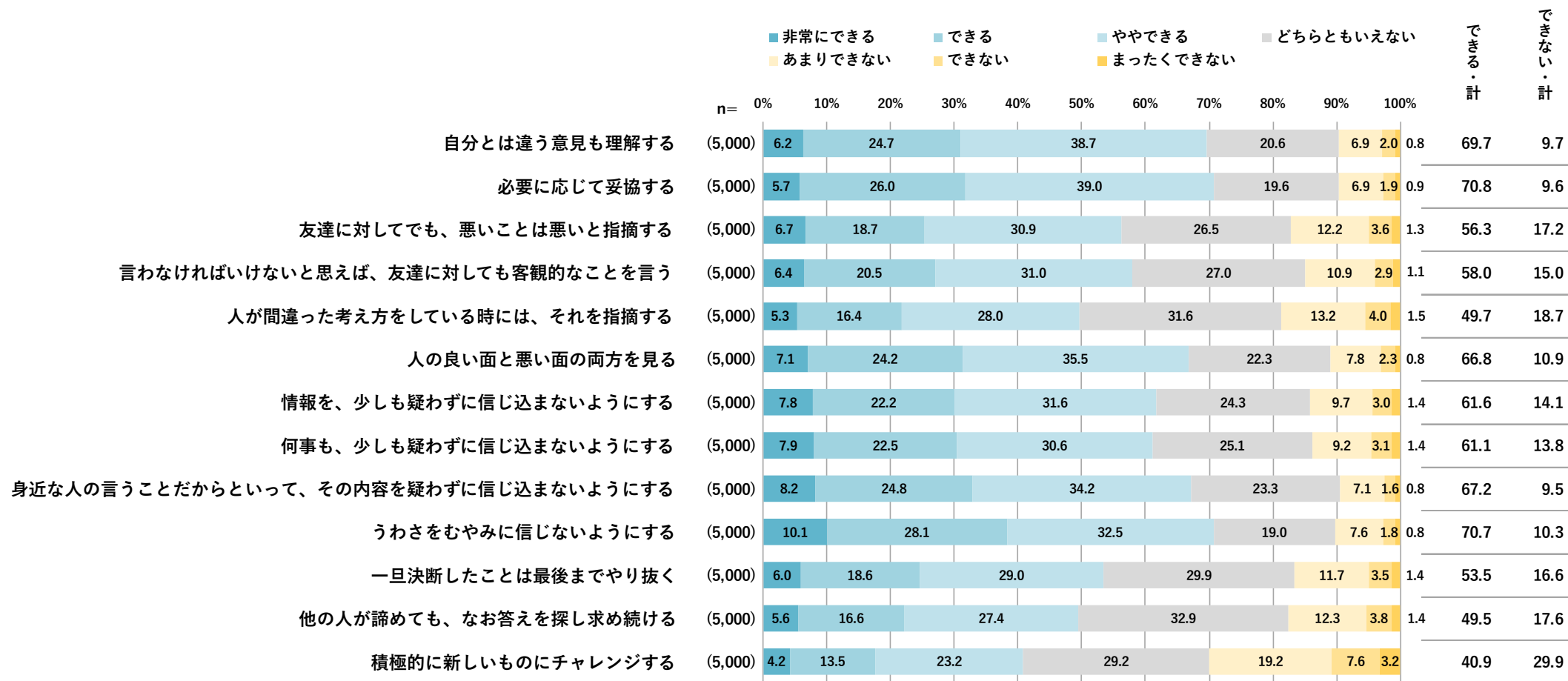
Q7 あなたは、下記のような事柄をどれくらいできると思いますか。
あなたの考えにもっとも近いものを、それぞれ1つずつお選びください。(各SA)



※できる・計: 「非常にできる」「できる」「ややできる」の計
※できない・計: 「あまりできない」「できない」「まったくできない」の計

情報に関してできること・できないこと (2/2)

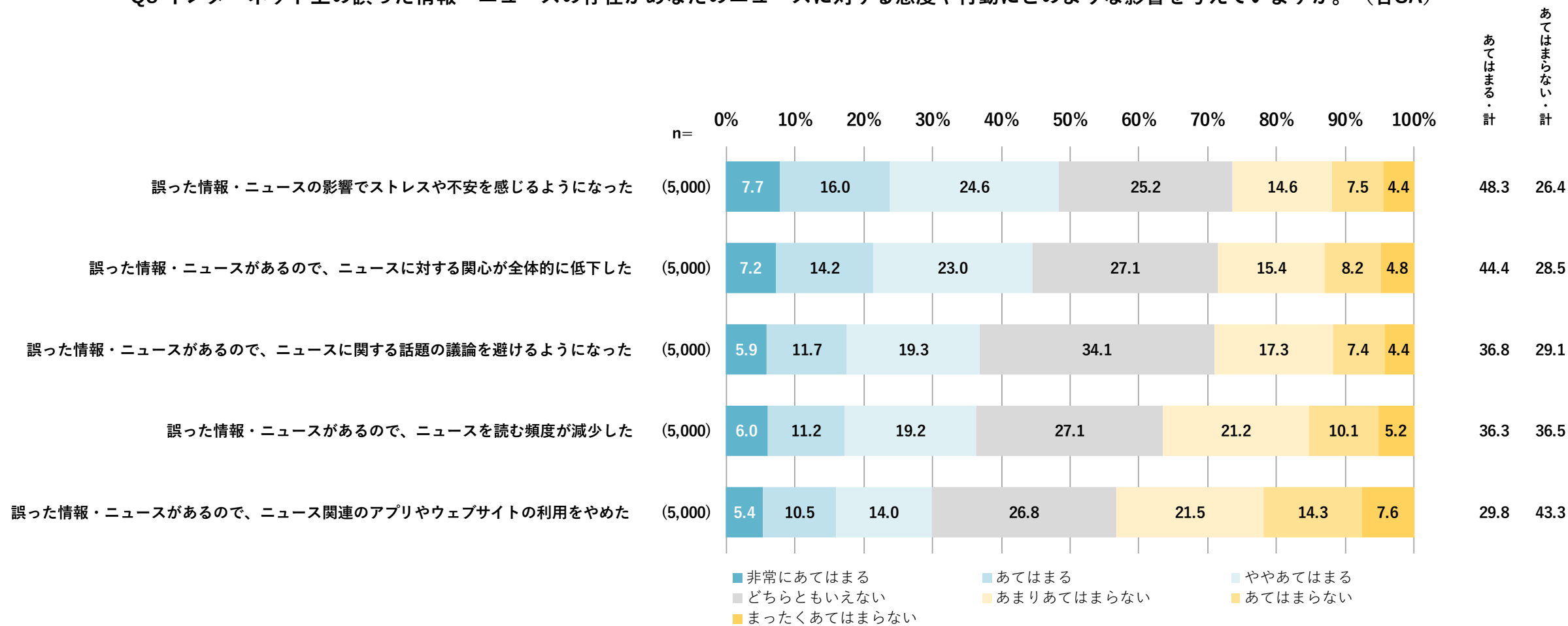
Q7 あなたは、下記のような事柄をどれくらいできると思いますか。
あなたの考えにもっとも近いものを、それぞれ1つずつお選びください。(各SA)



※できる・計：「非常にできる」「できる」「ややできる」の計
※できない・計：「あまりできない」「できない」「まったくできない」の計

誤情報が与える影響

Q8 インターネット上の誤った情報・ニュースの存在があなたのニュースに対する態度や行動にどのような影響を与えていますか。（各SA）



※「あてはまる・計」で降順ソート

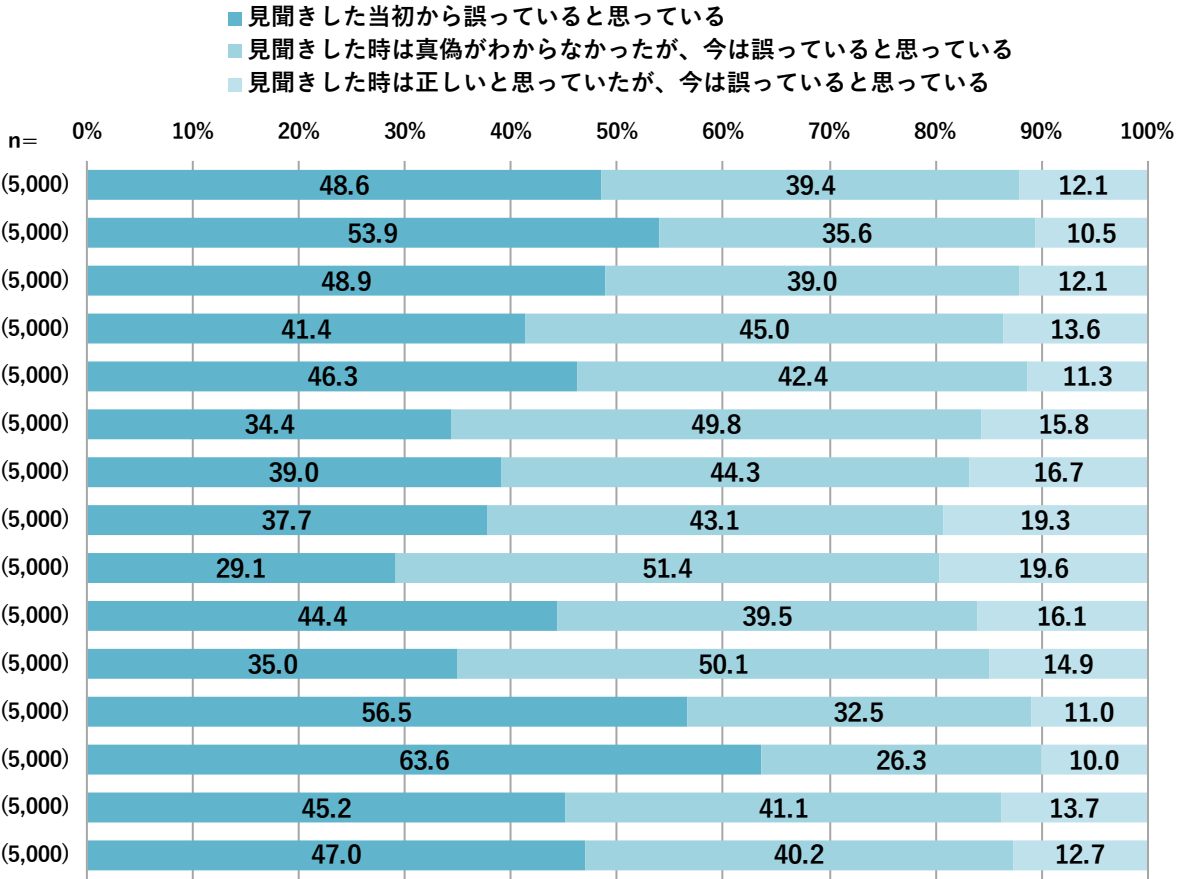
※あてはまる・計：「非常にあてはまる」「あてはまる」「ややあてはまる」の計
あてはまらない・計：「まったくあてはまらない」「あてはまらない」「あまりあてはまらない」の計

情報の真偽判断タイミング

Q9 先日の調査で質問をした情報・ニュースの中で、どの段階で誤っているとお考えになりましたか。
あなたの考えにもっとも近いものを、それぞれ1つずつお選びください。（各SA）

予備調査で提示した15の偽・誤情報

- 自閉症の発症と麻疹のワクチン接種には関連がある
- 世界保健機関（WHO）でパンデミック条約が採択されると、ワクチンを強制接種させられるようになる
- 世界保健機関（WHO）事務局長が、2024年になって「新型コロナに効くワクチンはない」と言った
- ヨーロッパの平均時給は日本円に換算して、ノルウェー 8,472円、フランス 6,889円、ドイツ 6,744円である
- 財務大臣が「円安の元凶と見てる」と発言し、新NISA（少額投資非課税制度）が規制された
- 偽造マイナンバーカードによる事件件数は2,508件、被害額は334億円である
- 東京・神奈川で発生した震度4の地震前に不自然な雲が多く発生していた
- イワシやクジラの海岸への大量漂着は、地震の前兆または影響である
- 能登半島地震後、地盤隆起の影響で消波ブロックが波打ち際で船の障害物となった
- 兵庫県斎藤知事の公約実現率は98.8%である
- 難民申請中は強制送還できないよう入管法を改正したのは民主党政権である
- 前首相が「日本人は10%で残りの90%は移民や不法難民で構わない」と発言した
- 新小学一年生のなりたい職業1位は男子「殺し屋」、女子「ホロライブ」である
- 小中高生の自殺者数が初めて500人を超え、原因1位は「親の貧困による生活苦」である
- 2025年1月から、軽自動車の自賠責保険、修理費用が170%値上げする



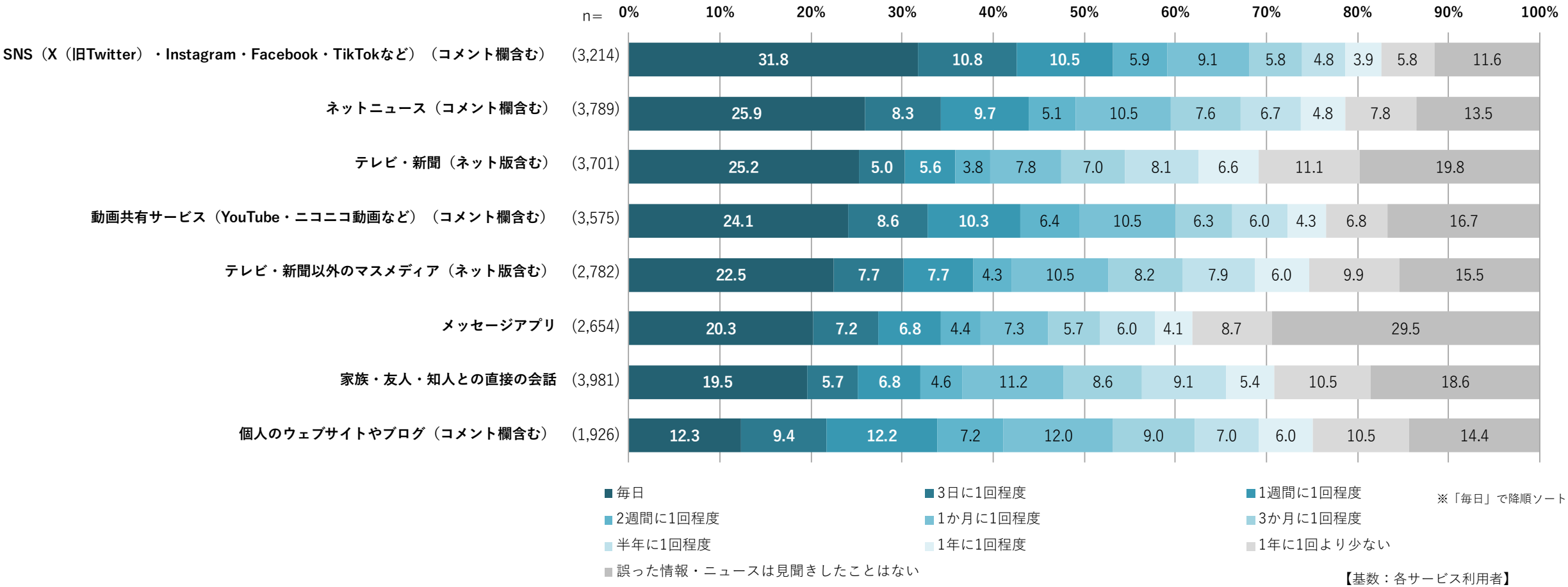
誤りに気づいた理由

Q10 引き続きお伺いします。先日の調査で質問をした情報・ニュースについて、なぜ誤っていると思いましたか。
あてはまるものをすべてお選びください。（各MA）

予備調査で提示した 15の偽・誤情報		回答個数平均																		(%)
		SNSで誤った情報だと言っているのを見たから	動画共有サービスで誤った情報だと言われているから	動画共有サービスのコメント欄で誤った情報だと言われているから	テレビ・新聞（ネット版含む）で誤った情報として報じられていたから	テレビ・新聞以外のマスメディア（ネット版含む）で誤った情報として報じられていたから	ネットニュースで誤った情報として言われていたから	ネットニュースのコメント欄で誤った情報として言われていたから	メッセージアプリで誤った情報だと言っているのを見たから	個人のウェブサイトやブログで誤った情報だと書かれていたから	家族・友人・知人との直接の会話で誤った情報だと言っていたから	ファクトチェック記事を見たから	その他の情報源で誤った情報だと言っているのを見たから	よく考えたらおかしいと思ったから	情報源が不明確なことに気づいたから	その他	とくに理由はない・何となく			
自閉症の発症と麻疹のワクチン接種には関連がある	(5,000)	6.1	5.8	6.0	9.4	6.0	5.6	4.3	2.5	2.7	2.9	2.5	4.7	27.6	19.4	1.0	30.4	1.06		
世界保健機関（WHO）でパンデミック条約が採択されると、ワクチンを強制接種させられるようになる	(5,000)	5.9	6.0	5.7	8.4	6.4	6.2	4.5	2.7	2.6	2.8	2.6	5.1	31.2	16.6	0.8	28.3	1.07		
世界保健機関（WHO）事務局長が、2024年になって「新型コロナウイルスに効くワクチンはない」と言った	(5,000)	5.7	5.7	6.2	8.7	5.9	5.9	4.7	2.8	2.6	2.9	2.6	5.1	28.3	18.8	0.9	28.5	1.07		
ヨーロッパの平均時給は日本円に換算して、ノルウェー8,472円、フランス6,889円、ドイツ6,744円である	(5,000)	5.1	5.8	5.0	8.5	6.0	5.4	3.8	2.9	2.8	2.9	2.5	4.4	25.8	15.5	0.9	34.0	0.97		
財務大臣が「円安の元凶と見てる」と発言し、新NISA（少額投資非課税制度）が規制された	(5,000)	5.7	5.8	5.4	9.1	5.7	5.8	4.1	2.6	2.7	3.1	2.3	4.8	26.8	16.1	0.9	32.2	1.01		
偽造マイナンバーカードによる事件件数は2,508件、被害額は334億円である	(5,000)	5.1	5.4	5.7	9.6	5.9	6.1	4.3	3.2	2.7	3.0	2.6	5.1	21.5	18.8	0.9	33.3	1.00		
東京・神奈川で発生した震度4の地震前に不自然な雲が多く発生していた	(5,000)	6.6	5.4	5.7	8.5	6.3	6.1	4.4	2.8	2.7	3.0	2.4	5.3	20.4	21.4	0.9	32.1	1.02		
イワシやクジラの海岸への大量漂着は、地震の前兆または影響である	(5,000)	6.4	5.4	5.7	8.9	5.8	6.0	4.5	3.0	2.5	3.3	2.6	5.5	21.9	20.2	0.8	32.2	1.02		
能登半島地震後、地盤隆起の影響で消波ブロックが波打ち際に船の障害物となった	(5,000)	6.3	5.8	5.6	9.1	6.5	5.9	4.5	3.0	2.3	3.1	2.5	5.4	19.8	17.6	0.8	35.5	0.98		
兵庫県斎藤知事の公約実現率は98.8%である	(5,000)	6.9	5.7	5.6	9.8	6.6	6.9	4.7	2.8	2.5	2.9	2.8	5.8	27.3	18.1	0.9	28.2	1.09		
難民申請中は強制送還できないよう入管法を改正したのは民主党政権である	(5,000)	5.6	5.4	5.6	8.6	6.2	6.2	4.3	2.6	2.4	2.6	2.5	5.0	19.5	17.6	0.8	37.0	0.95		
前首相が「日本人は10%で残りの90%は移民や不法難民で構わない」と発言した	(5,000)	5.9	5.4	6.0	8.5	6.0	5.9	4.2	2.4	2.2	2.5	2.2	4.9	32.6	17.8	0.9	27.9	1.07		
新小学一年生のなりたい職業1位は男子「殺し屋」、女子「ホロライブ」である	(5,000)	5.8	5.4	5.4	7.6	6.0	5.5	3.5	2.5	2.3	2.9	2.1	4.0	40.9	14.7	1.1	23.9	1.10		
小中高生の自殺者数が初めて500人を超え、原因1位は「親の貧困による生活苦」である	(5,000)	5.7	5.5	5.5	9.0	6.3	6.4	4.2	2.7	2.7	2.7	2.0	4.9	28.8	17.7	1.0	29.5	1.05		
2025年1月から、軽自動車の自賠責保険、修理費用が170%値上げする	(5,000)	5.7	5.3	5.3	8.2	5.7	5.5	3.8	3.0	2.6	3.3	2.3	4.6	29.5	16.5	0.9	30.6	1.02		

誤情報との接触頻度

Q11 あなたが利用しているサービスや会話で、誤った情報・ニュースをどれくらいの頻度で見聞きますか。
もっとも近いものを、それぞれ1つずつお選びください。（各SA）



接触した誤情報の種類

Q12 先ほど誤った情報・ニュースを見聞きしたことがあるとお答えいただいたサービスや会話について、どのような内容の誤った情報・ニュースを見聞きしますか。
あてはまるものをすべてお選びください。（各MA）

		(%)																	
	n=	スポーツ・芸能・文化 に関すること	多様性に関すること （外国人やLGBTQ+な ど）	医療・健康に関するこ と	経済に関すること	国内政治に関すること （選挙期間中）	国内政治に関すること （選挙期間以外）	安全保障に関すること	外国の政治に関するこ と	近隣諸国での戦争・紛 争に関すること	近隣諸国以外での戦 争・紛争に関すること	環境問題・気候変動に 関すること	教育に関すること	科学技術に関すること	災害に関すること	パロディ（面白い画像 や動画）	その他の社会・事件に 関すること	この中にはない	回答個数平均
SNS（X（旧Twitter）・Instagram・Facebook・TikTokなど）（コメント欄含む）	(2,841)	30.1	16.2	23.3	22.1	25.7	26.0	13.2	16.2	13.9	13.4	16.7	13.1	12.8	23.9	23.2	17.2	16.5	3.07
動画共有サービス（YouTube・ニコニコ動画など）（コメント欄含む）	(2,978)	26.1	13.4	17.9	19.0	22.1	22.8	11.7	14.3	12.2	12.4	13.7	10.7	11.8	16.7	22.7	15.1	18.9	2.63
テレビ・新聞（ネット版含む）	(2,969)	28.9	16.1	23.0	27.1	30.6	31.1	17.4	21.2	17.4	17.2	20.0	14.0	13.7	23.9	11.9	21.1	15.4	3.35
テレビ・新聞以外のマスメディア（ネット版含む）	(2,352)	26.2	14.4	21.4	24.0	27.8	27.4	15.1	18.6	16.0	14.9	19.1	13.4	13.4	20.2	14.2	18.7	17.5	3.05
ネットニュース（コメント欄含む）	(3,276)	31.1	15.1	24.1	25.4	28.8	28.5	15.9	18.4	15.7	15.2	18.8	13.6	13.4	24.5	15.9	20.1	13.2	3.25
メッセージアプリ	(1,872)	16.8	8.4	12.2	12.9	13.4	14.9	8.0	10.6	8.4	7.5	9.8	8.5	9.5	13.4	12.6	10.0	31.4	1.77
個人のウェブサイトやブログ（コメント欄含む）	(1,649)	22.6	13.5	20.3	19.7	19.2	19.6	11.9	11.9	11.6	11.5	15.0	11.9	12.1	15.9	16.1	14.8	18.7	2.48
家族・友人・知人との直接の会話	(3,242)	23.6	8.5	25.0	16.3	16.7	16.3	7.4	10.3	8.1	7.4	12.5	12.3	8.0	16.5	12.0	19.0	23.0	2.20

【基数：各サービス利用者における誤情報接触者】

接触した誤情報が誤りだと気づいたきっかけ

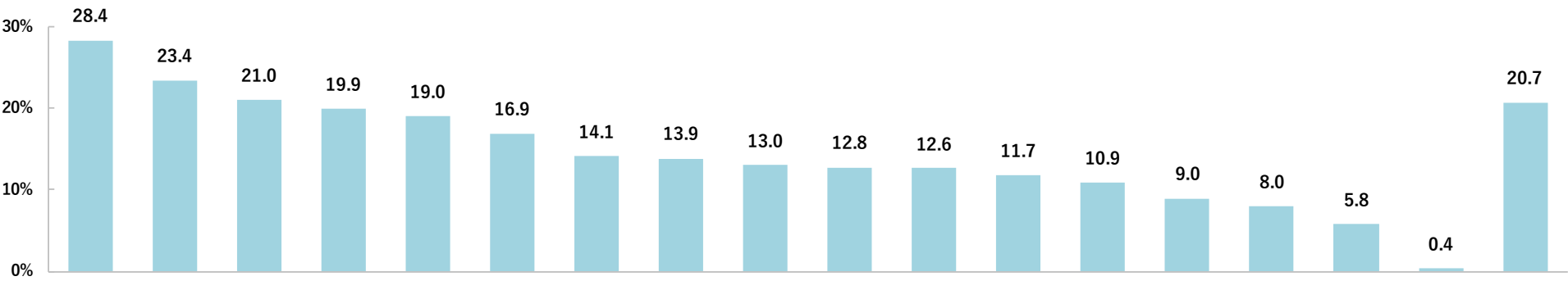
Q13 引き続きお伺いします。先ほど誤った情報を見聞きしたことがあるとお答えいただいたサービスや会話について、見聞きした情報・ニュースを誤った情報だと気づくきっかけにはどのようなものがありますか。それぞれあてはまるものをすべてお選びください。（各MA）

		(%)																			回答個数平均
	n=	SNSで誤った情報だと言っているのを見て	動画共有サービスで誤った情報だと言っているのを見て	動画共有サービスのコメント欄で誤った情報だと言っているのを見て	テレビ・新聞（ネット版含む）で誤った情報として報じられているのを見て	テレビ・新聞以外のマスメディア（ネット版含む）で誤った情報として報じられているのを見て	ネットニュースで誤った情報として報じられているのを見て	ネットニュースのコメント欄で誤った情報として言っているのを見て	メッセージアプリで誤った情報だと言っているのを見て	個人のウェブサイトやブログで誤った情報だと書かれているのを見て	家族・友人・知人との直接の会話で誤った情報だと言っているのを見て	その他の情報源で誤った情報だと言っているのを見て	よく考えたらおかしいと思ったから	情報源が不明確なことに気づいて	その他	とくに理由はない・何となく					
SNS（X（旧Twitter）・Instagram・Facebook・TikTokなど）（コメント欄含む）	(2,841)	21.5	9.8	11.9	13.3	9.6	10.7	8.9	4.9	5.4	7.1	10.0	29.7	25.2	0.2	17.0	1.68				
動画共有サービス（YouTube・ニコニコ動画など）（コメント欄含む）	(2,978)	13.5	11.3	15.4	13.4	9.7	10.7	8.5	4.5	4.5	7.5	9.6	29.9	23.6	0.3	18.5	1.62				
テレビ・新聞（ネット版含む）	(2,969)	13.0	9.8	9.7	20.1	12.2	11.9	8.6	4.4	5.0	8.0	10.1	26.7	20.6	0.4	18.7	1.61				
テレビ・新聞以外のマスメディア（ネット版含む）	(2,352)	13.7	10.1	10.2	17.6	11.9	13.1	10.4	4.9	5.7	7.7	9.7	27.3	21.8	0.4	17.9	1.64				
ネットニュース（コメント欄含む）	(3,276)	14.1	9.0	9.6	15.2	10.4	12.8	11.9	4.2	4.0	6.6	9.6	30.7	24.8	0.3	17.4	1.63				
メッセージアプリ	(1,872)	12.1	10.5	13.3	14.6	13.0	11.9	9.9	7.9	6.7	7.5	8.0	22.4	16.3	0.2	22.4	1.54				
個人のウェブサイトやブログ（コメント欄含む）	(1,649)	12.4	10.4	12.2	13.5	12.9	12.2	9.4	5.7	7.2	7.2	9.8	30.0	25.7	0.2	15.5	1.69				
家族・友人・知人との直接の会話	(3,242)	10.2	7.2	8.1	14.4	9.7	9.8	6.7	4.3	3.5	10.4	7.7	30.5	21.7	0.4	21.4	1.45				

【基数：各サービス利用者における誤情報接触者】

普段のファクトチェック方法

Q14 あなたは普段、見聞きした情報・ニュースが正しいかどうか確かめようとしたときに、どのようなことをしていますか。
あてはまるものをすべてお選びください。（MA）

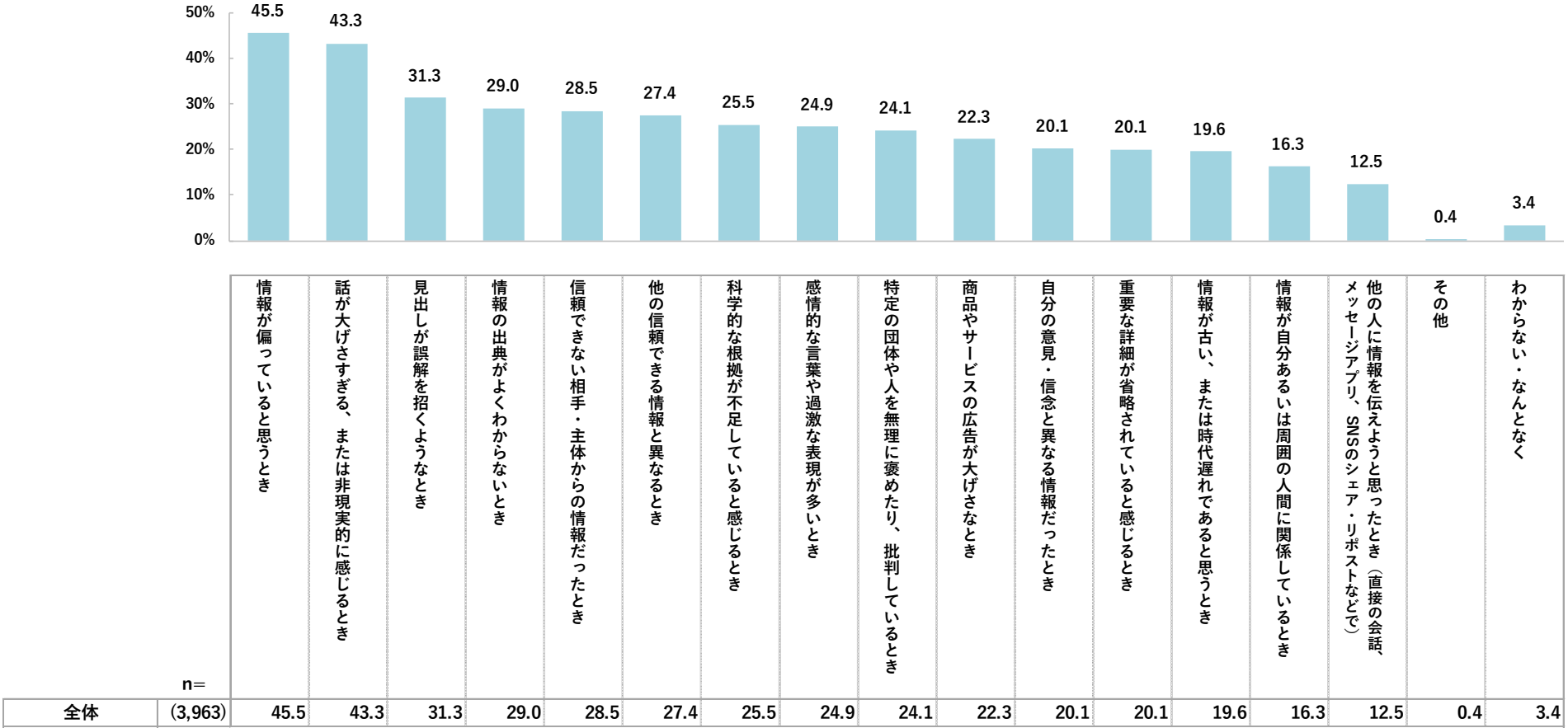


n=		見聞きした情報に関連するキーワードでネット検索をおこなう	家族、友人、知人など身近な人に意見を聞いて意見交換する	複数のテレビ局や新聞（ネット版含む）の報道を比較し、情報を照合する	専門家のコラムなどを参照する	情報の発信主体が何者か（専門家、メディア、企業、官公庁、SNSのインフルエンサーなど）を確認する	SNSや動画共有サービス、ニュースサイトのコメント欄で他の人の意見や反応を読む	リンク先の内容を確認し、その情報の出典が何かを確認する	見聞きした情報を否定するようなキーワードでネット検索をおこなう	一次ソース（元の報告、研究論文、公式声明など）に直接アクセスして確認する	専門家や専門機関の公式サイトを訪れ、見解や解説を読む	情報の発信日時や更新履歴を確認し、最新情報かどうかを判断する	政府発表や法律文書などの公的情報を確認する	SNSのトレンドやハッシュタグを確認する	画像があった場合、その画像で画像検索をする	ファクトチェックサイト（情報の真偽を検証しているサイト）を利用する	AIに聞いてみる	その他	普段、情報が正しいか確かめることはしない
全体	(5,000)	28.4	23.4	21.0	19.9	19.0	16.9	14.1	13.9	13.0	12.8	12.6	11.7	10.9	9.0	8.0	5.8	0.4	20.7

※降順ソート

ファクトチェックをするタイミング

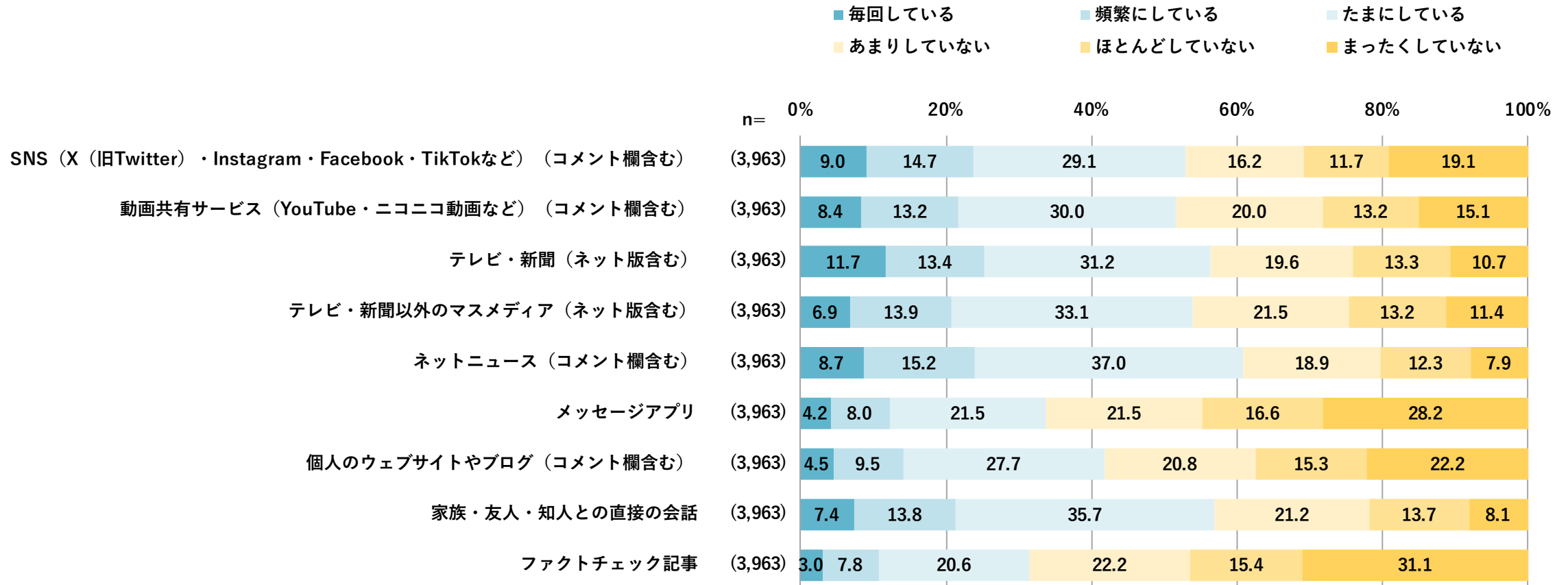
Q15 先ほどお答えいただいた情報・ニュースを確かめる行動はどのようなときにしていますか。
あてはまるものをすべてお選びください。（MA）



※降順ソート
【基数：ファクトチェック実施者】

ファクトチェックをする頻度

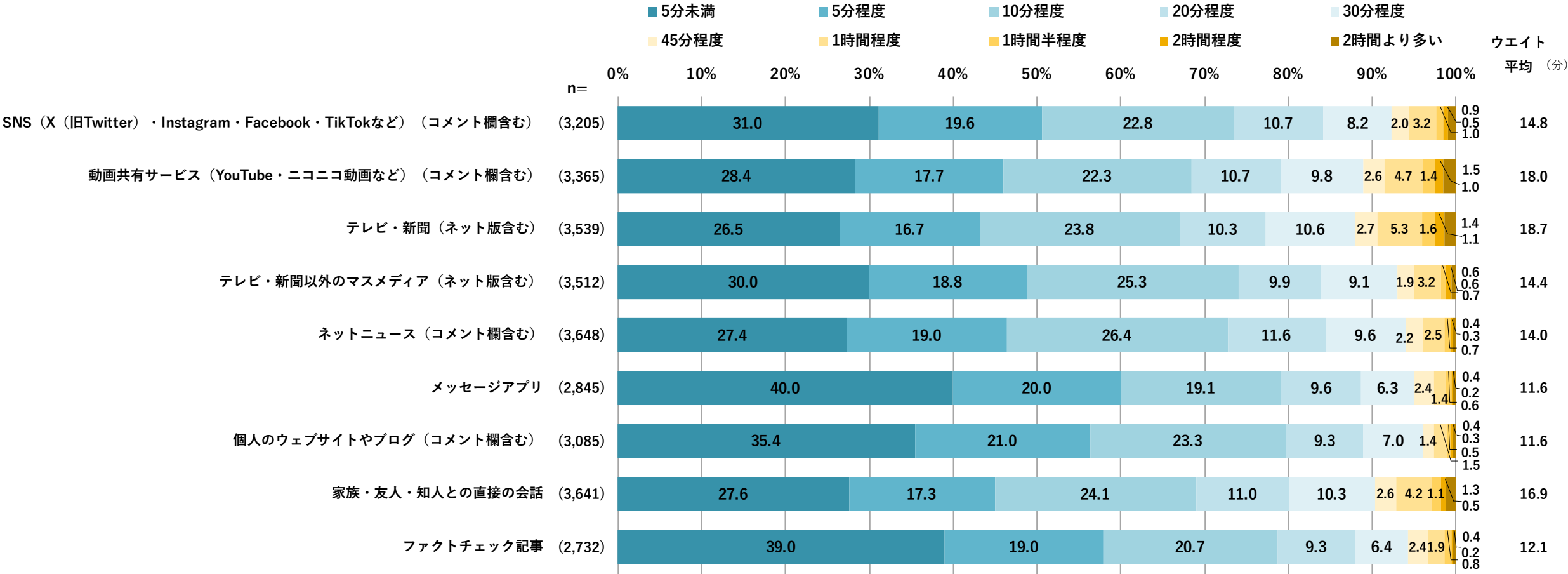
Q16 先ほどお答えいただいた情報・ニュースを確かめる行動はどのくらいの頻度でおこなっていますか。それぞれの媒体・手段で見聞きした、関心のある情報・ニュースについてそれぞれお答えください。（各SA）



【基数：ファクトチェック実施者】

ファクトチェックにかかる時間

Q17 引き続きお伺いします。先ほどお聞きした情報・ニュースが正しいか確かめる方法について、どれくらいの時間を使っていますか。
それぞれの媒体・手段で見聞きした情報・ニュースが正しいか確かめるにあたり、1日に費やしているおおよその平均時間をお答えください。（各SA）



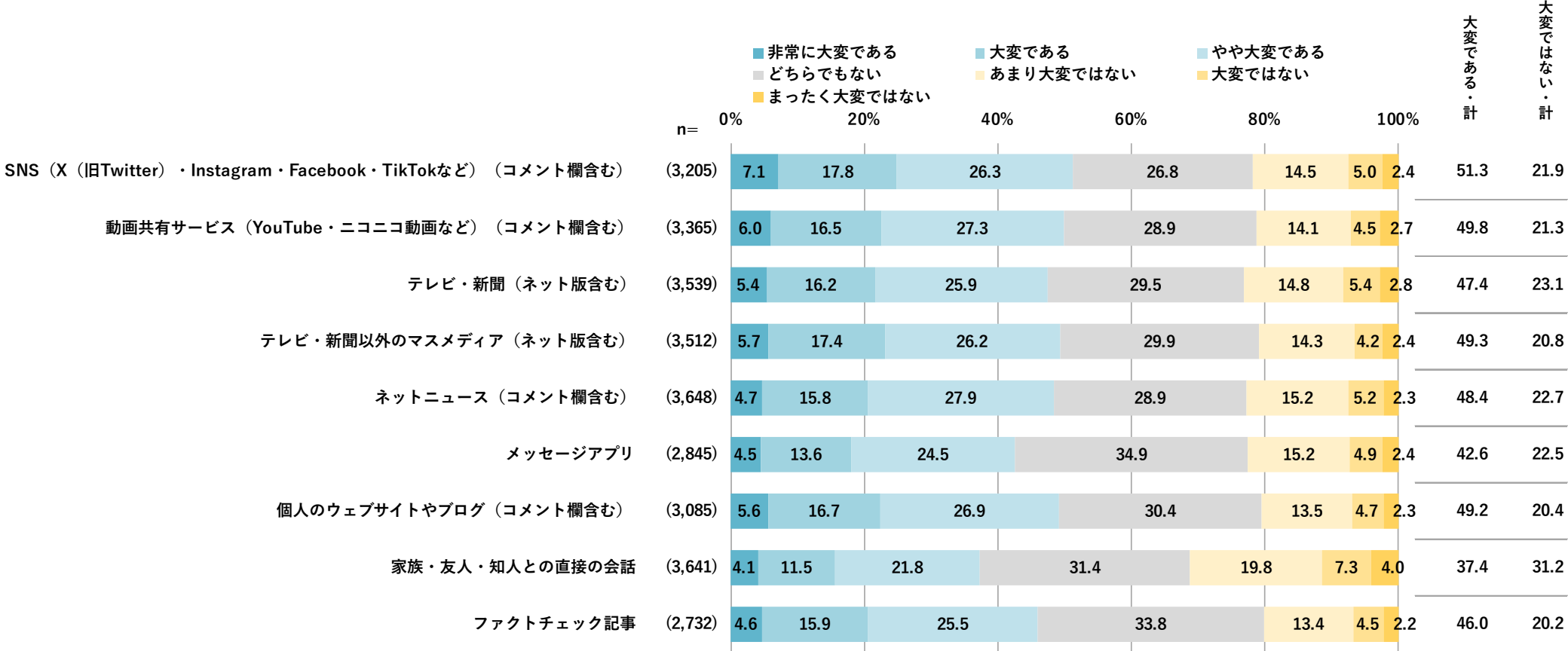
※ウエイト平均は、各選択肢ごとに「0分（利用していない）」は0、「5分未満」は4、「5分程度」は5、「10分程度」は10、「20分程度」は20、「30分程度」は30、「45分程度」は45、「1時間程度」は60、「1時間半程度」は90、「2時間程度」は120、「2時間より多い」は150と分数換算で各項目を数値化し、回答者の平均値を割り出したものです。
※ウエイト平均は、「0分（利用していない）」の回答者を含めた数値で算出をおこなっております。（n=5,000）

【基数：各サービス利用者におけるファクトチェック実施者】

© 2025 DENTSU SOKEN INC. 23

ファクトチェックの大変さ

Q18 引き続きお伺いします。ここまでお聞きした情報・ニュースが正しいか確かめる行為全般について、どのように感じていますか。
以下の媒体・手段についてあなたの考えにもっとも近いものを、それぞれ1つずつお選びください。（各SA）

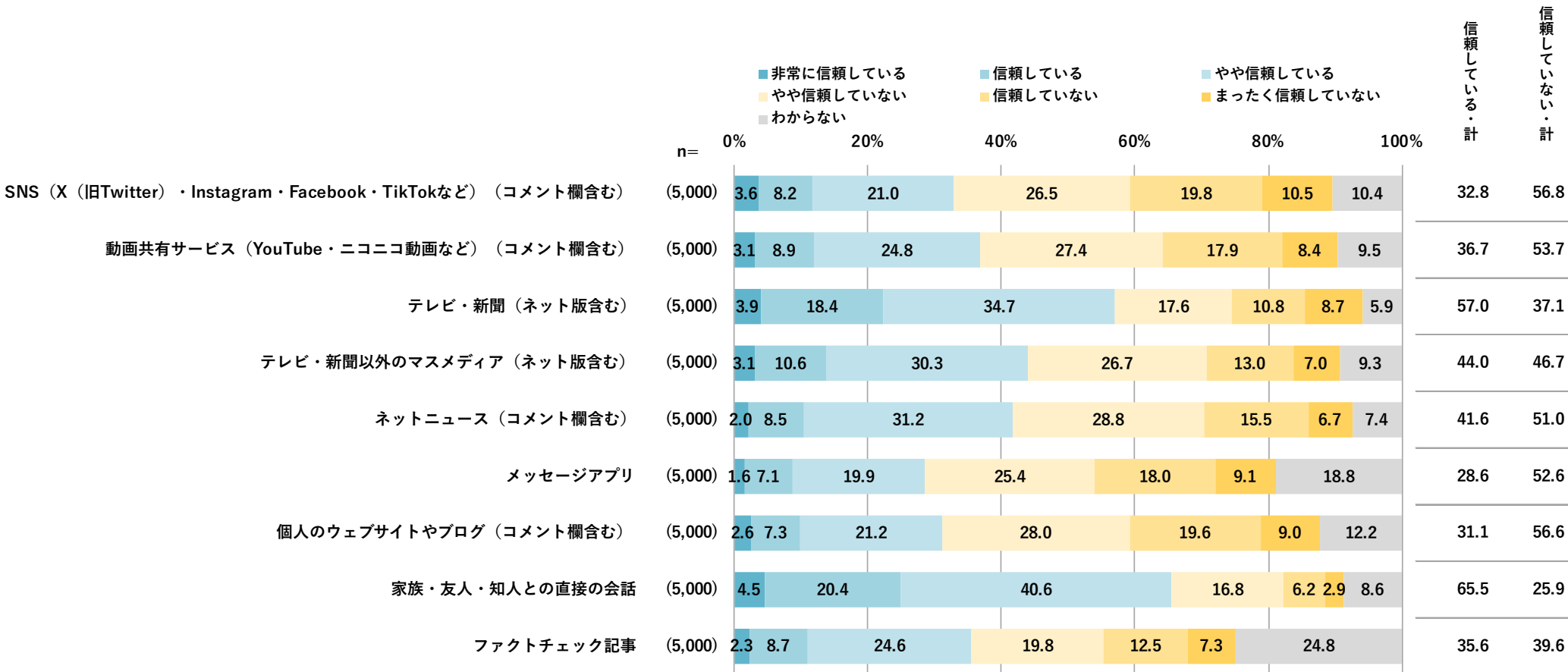


※大変である・計：「非常に大変である」「大変である」「やや大変である」の計
※大変ではない・計：「あまり大変ではない」「大変ではない」「まったく大変ではない」の計

【基数：各サービス利用者におけるファクトチェック実施者】

媒体・手段別の情報信頼度

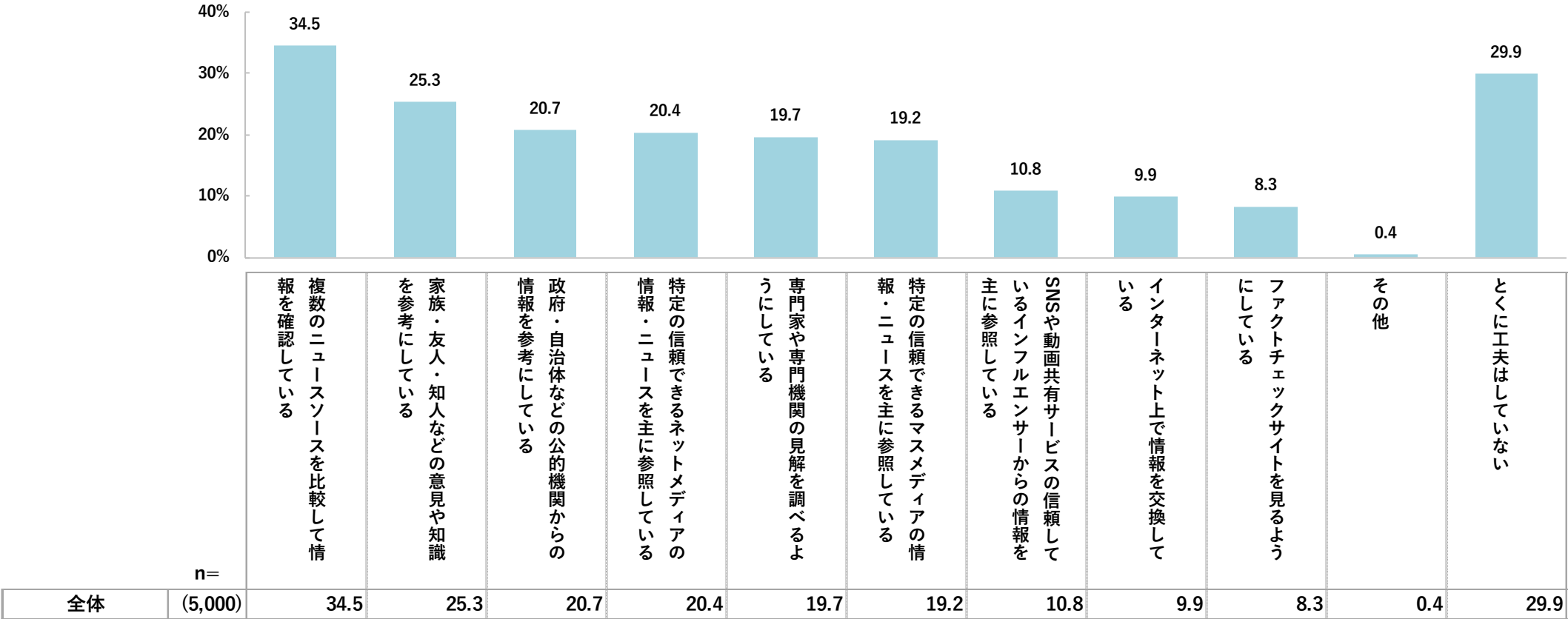
Q19 以下の媒体・手段にある情報・ニュースの信頼度についてどう考えていますか。あなたの考えにもっとも近いものを、それぞれ1つずつお選びください。
ただし、あなたが見聞きしているものだけでなく、その媒体・手段全体の情報・ニュースの平均的な信頼度についてお答えください。（各SA）



※信頼している・計：「非常に信頼している」「信頼している」「やや信頼している」の計
※信頼していない・計：「やや信頼していない」「信頼していない」「まったく信頼していない」の計

信頼できる情報を得るための工夫

Q20 あなたは、信頼できる情報・ニュースを得るためにどのような工夫をしていますか。
あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

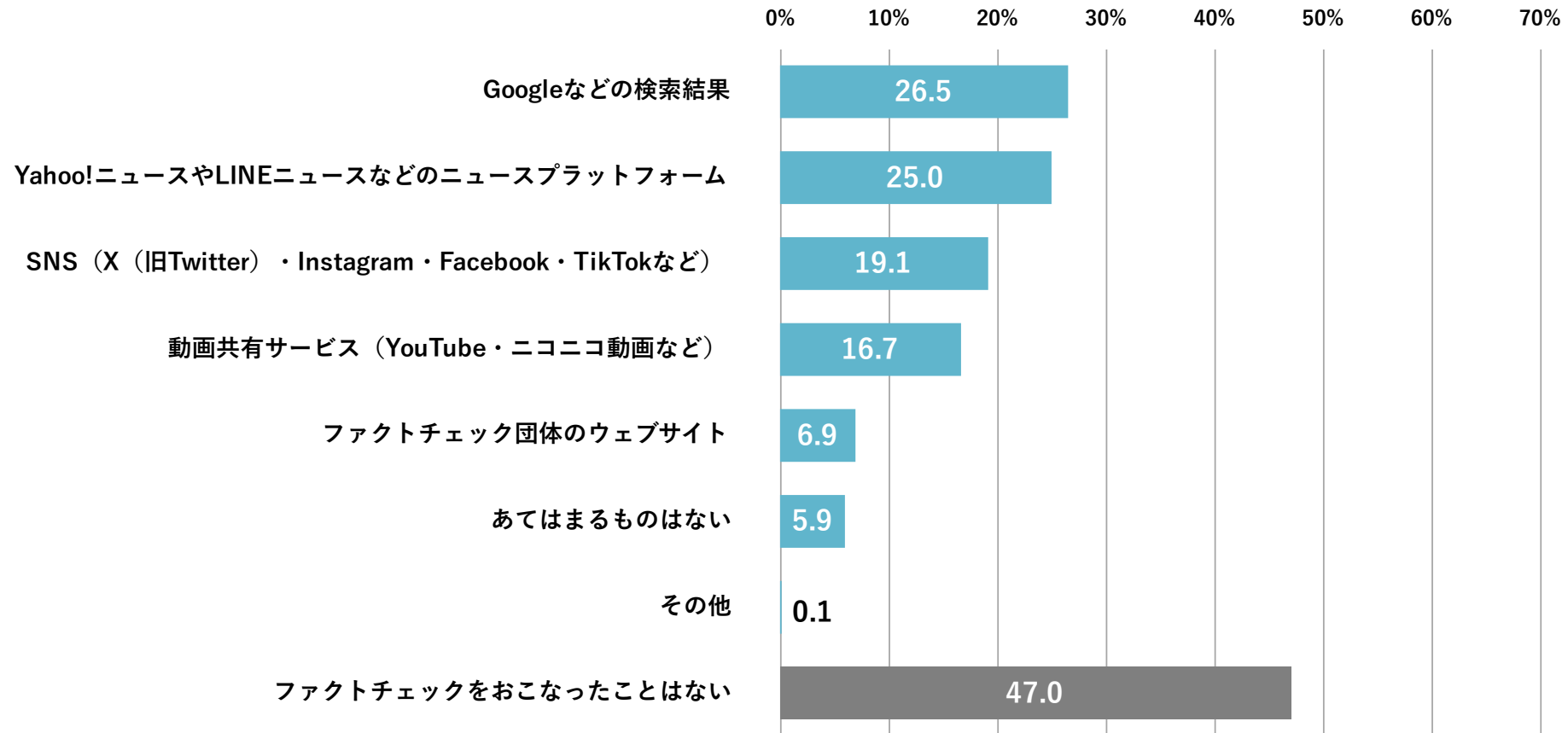


※降順ソート

ファクトチェック記事の閲覧

Q21 あなたは、ファクトチェックに関する記事を以下の媒体でご覧になったことはありますか。

あてはまるものをすべてお知らせください。（MA）

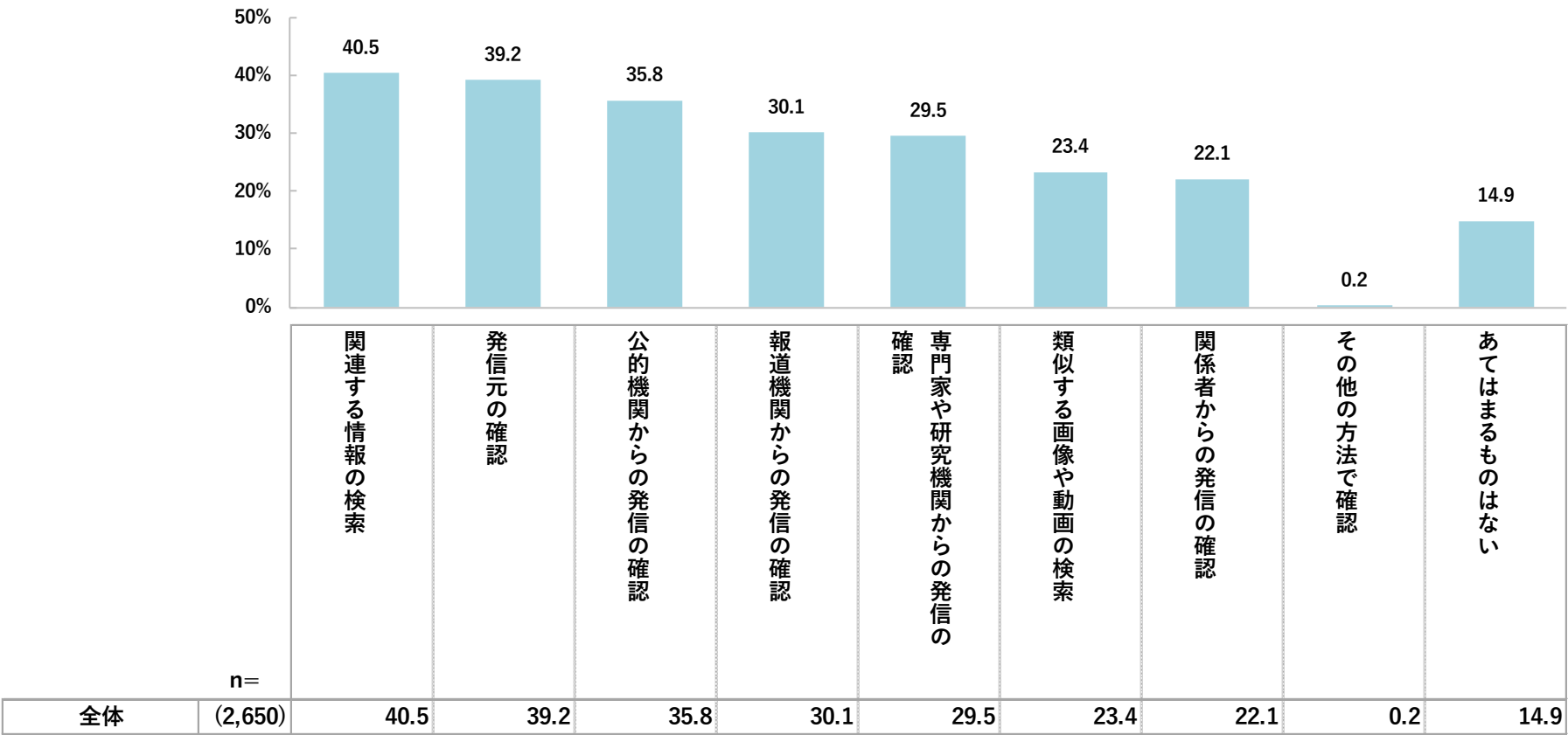


※降順ソート

【基数：対象者全員】

ファクトチェックの手法

Q22 あなたは、ファクトチェックをおこなう際にどのような手法を使っていますか。
あてはまるものをすべてお知らせください。（MA）

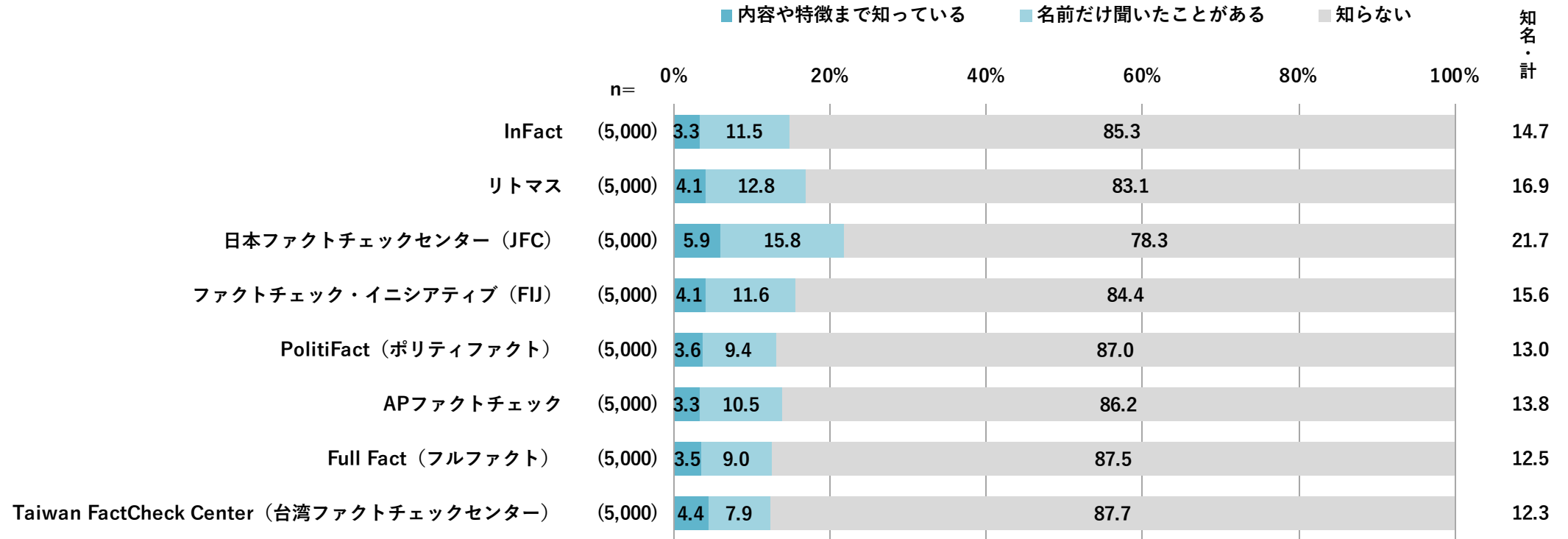


※降順ソート

【基数：ファクトチェック記事閲覧者】

ファクトチェックサイトの認知

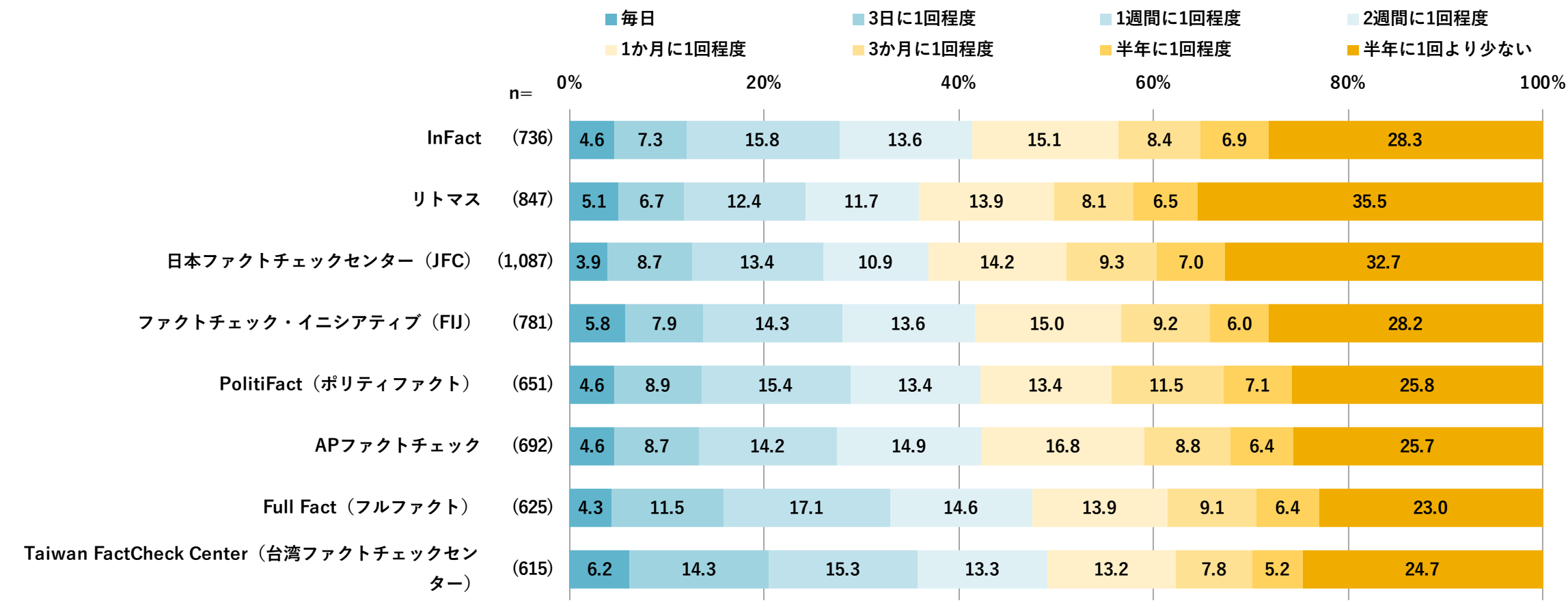
Q23 以下のウェブサイトについて、あてはまるものをそれぞれお選びください。（各SA）



※知名・計：「内容や特徴まで知っている」「名前だけ聞いたことがある」の計

ファクトチェックサイトの閲覧頻度

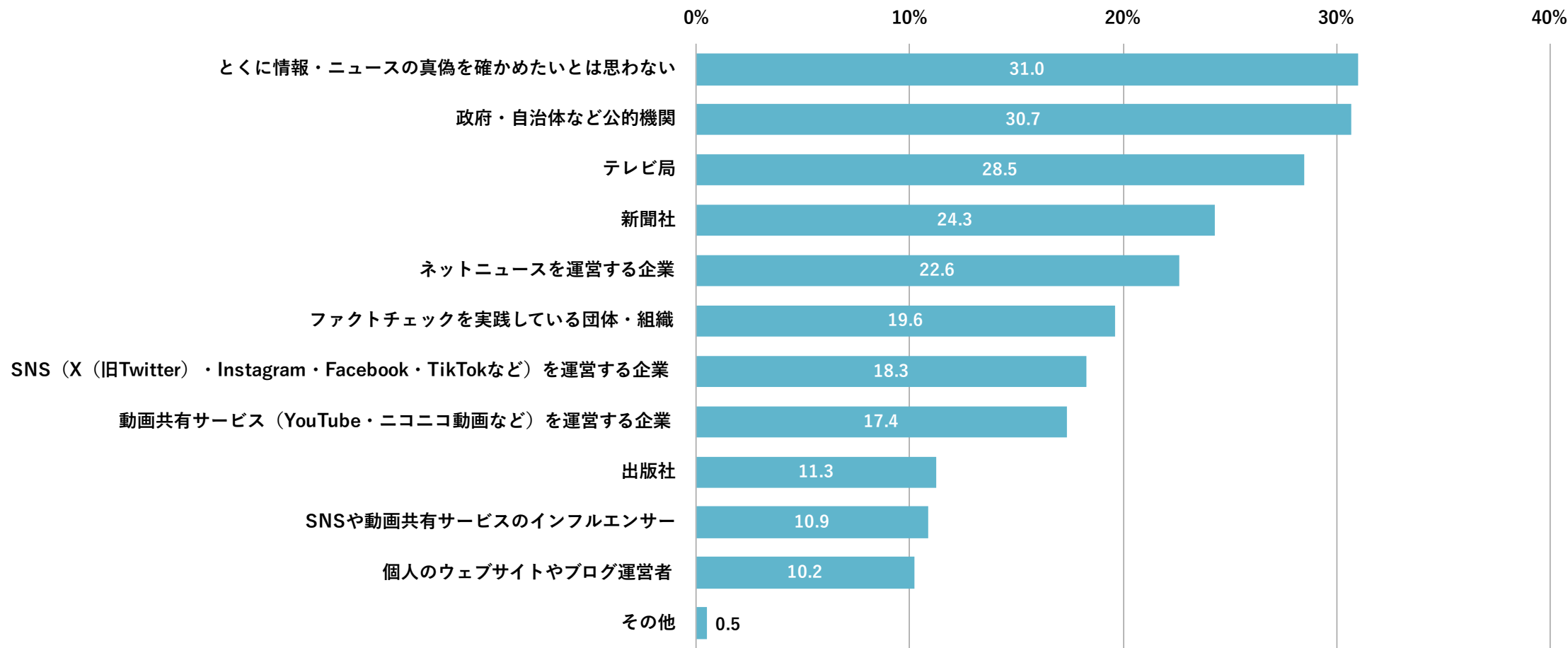
Q24 あなたは、以下のウェブサイトの記事や動画をどれくらいの頻度で閲覧していますか。もっとも近いものを、それぞれ1つずつお選びください。（各SA）



【基数：各ウェブサイトの認知者】

どの主体が確認・検証した情報・ニュースを知りたいか

Q25 社会で広まっている情報・ニュースの真偽について、どの主体が確認・検証した内容を知りたいと思いますか。（MA）

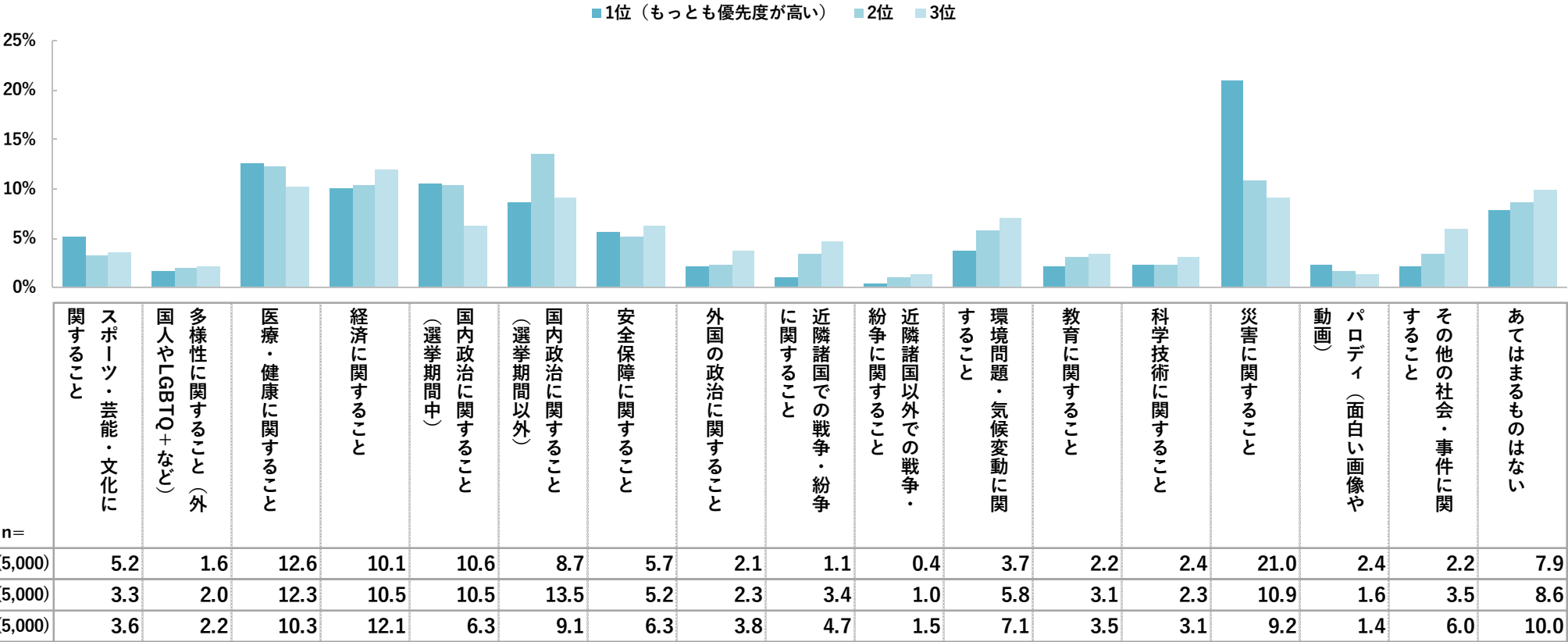


※降順ソート

【基数：対象者全員】

真偽不明情報の検証優先分野

Q26 世の中には、さまざまな分野の真偽不明情報があります。そのような情報について、正確性を検証する優先度が高い分野だと考えられるものを上から3つ選んでください。（各SA）



情報に関するコンテンツの学習経験

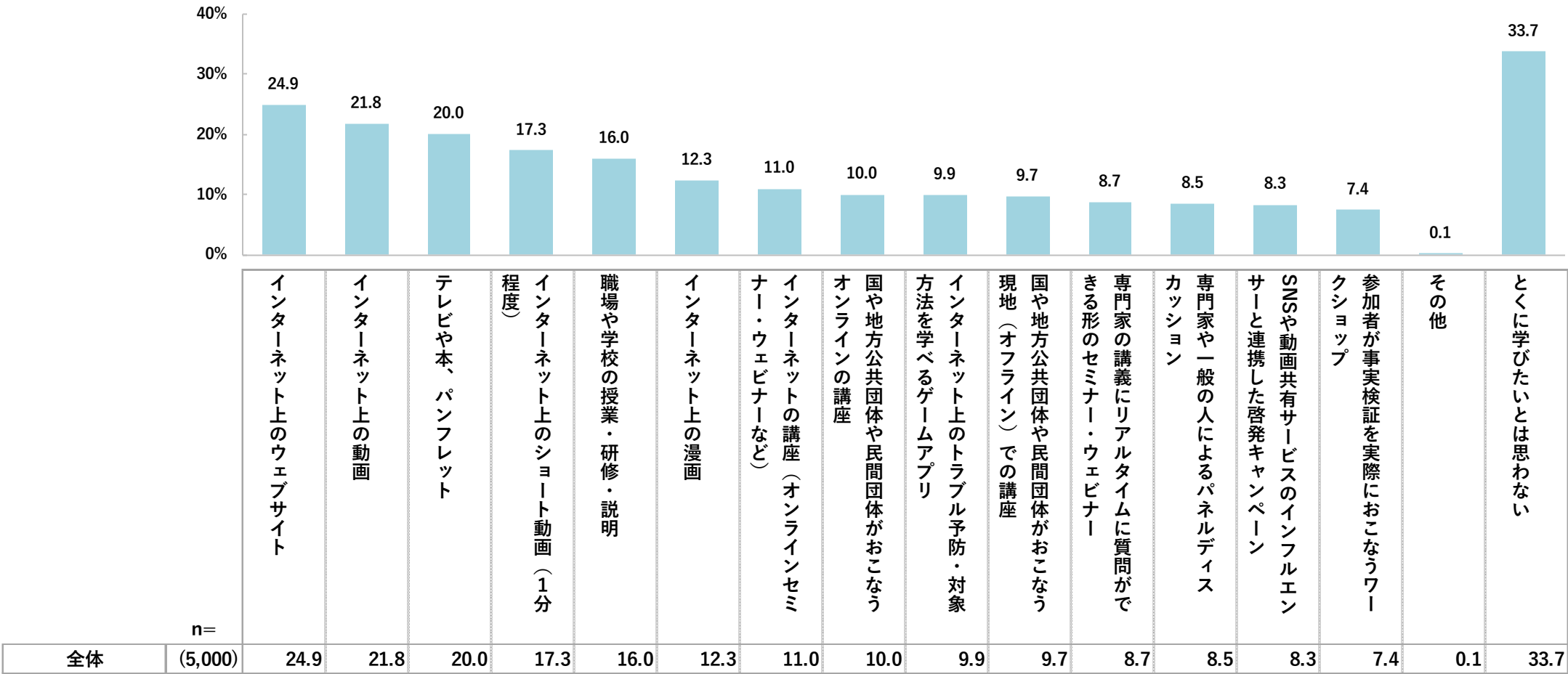
Q27 以下の内容について、講座や、動画などのコンテンツで学んだことはあるでしょうか。あてはまるものをすべてお選びください。（各MA）

		(%)								回答個数平均
	n=	インターネット（ウェブサイトや動画）で学んだことがある	テレビや本、パンフレットで学んだことがある	職場や学校の授業・研修・説明などで学んだことがある	国や地方公共団体の講座で学んだことがある	国や地方公共団体や民間団体が主催する講座で学んだことがある	その他の方法で学んだことがある	学んだことはない		
インターネット上の情報の特性について	(5,000)	19.9	13.9	17.4	8.4	8.3	0.1	59.4	0.68	
情報・ニュースの正確性の検証方法について	(5,000)	16.6	11.5	12.7	7.6	7.2	0.1	64.3	0.56	
誤った情報が社会に広まる問題やその背景について	(5,000)	17.5	12.5	13.5	6.7	6.9	0.1	62.2	0.57	

希望する学習方法

Q28 下記の3つの内容について、どのような方法で学びたいでしょうか。あてはまるものをすべてお選びください。

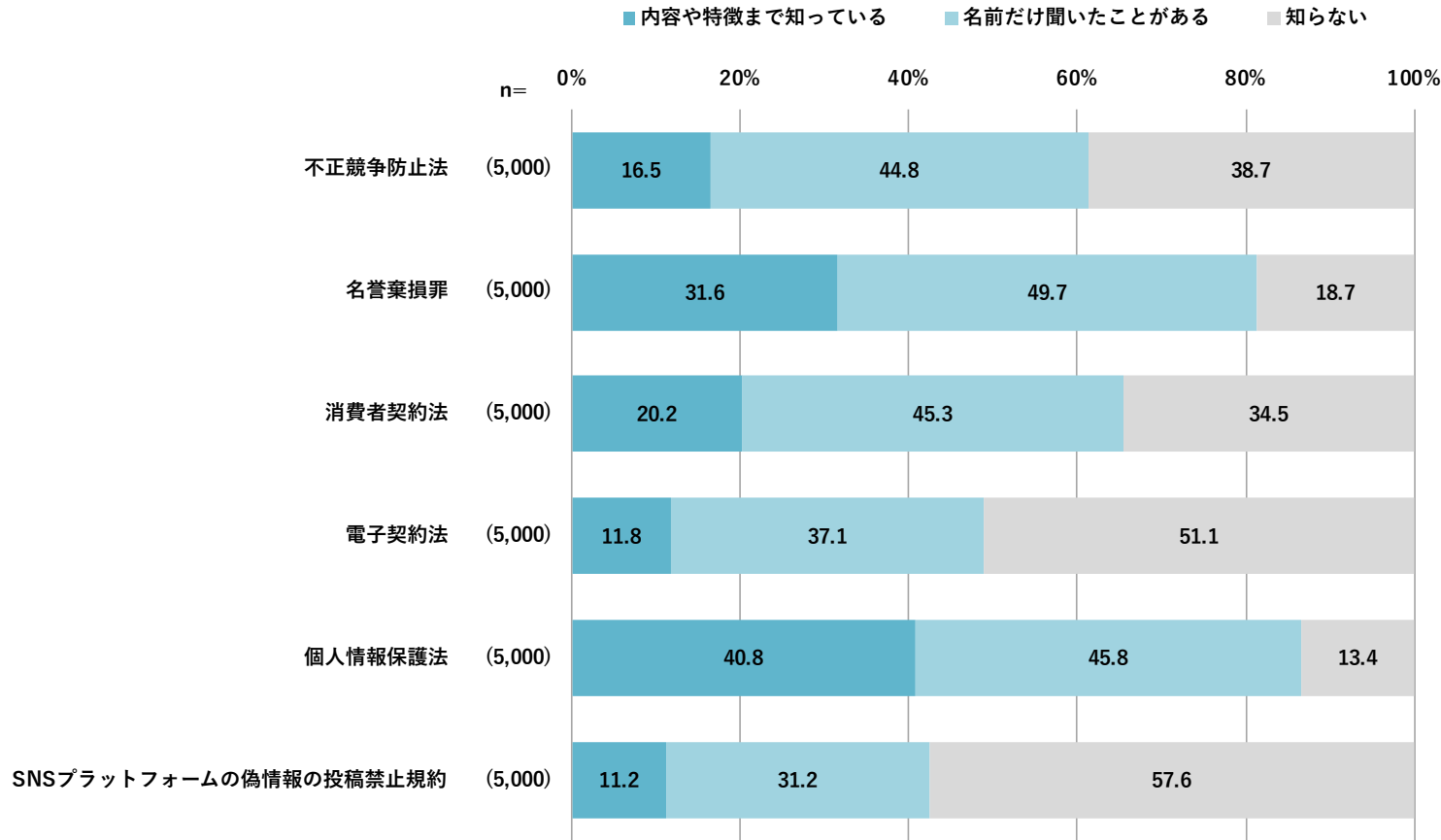
- ・インターネット上の情報の特性について
- ・情報・ニュースの正確性の検証方法について
- ・誤った情報が社会に広まる問題やその背景について（各MA）



※降順ソート

情報に関する法律や規約について

Q29 以下のそれぞれについて、あなたはご存じですか。文章をご覧になって、それぞれあてはまるものを1つだけお知らせください。（各SA）



※上記グラフでは項目名を一部省略しております。実際の項目名は以下の通りです。

【不正競争防止法】この法律は、虚偽の情報を用いて他者の営業を妨害する行為を禁止しています。偽情報が商業活動に影響を与える場合、これに基づいて訴訟が可能です。

【名誉棄損罪】刑法230条に規定される犯罪で、公然と事実を摘示して人や法人の名誉を傷つけること。虚偽の情報でも公然と個人や法人の名誉を傷つけ、社会的信用を低下させる場合に適用され、被害者は損害賠償を請求することができます。

【消費者契約法】この法律は、消費者に対する不当な勧誘や虚偽の表示を禁止しています。偽情報が消費者の判断に影響を与える場合、消費者は契約の取り消しや損害賠償を求めることができます。

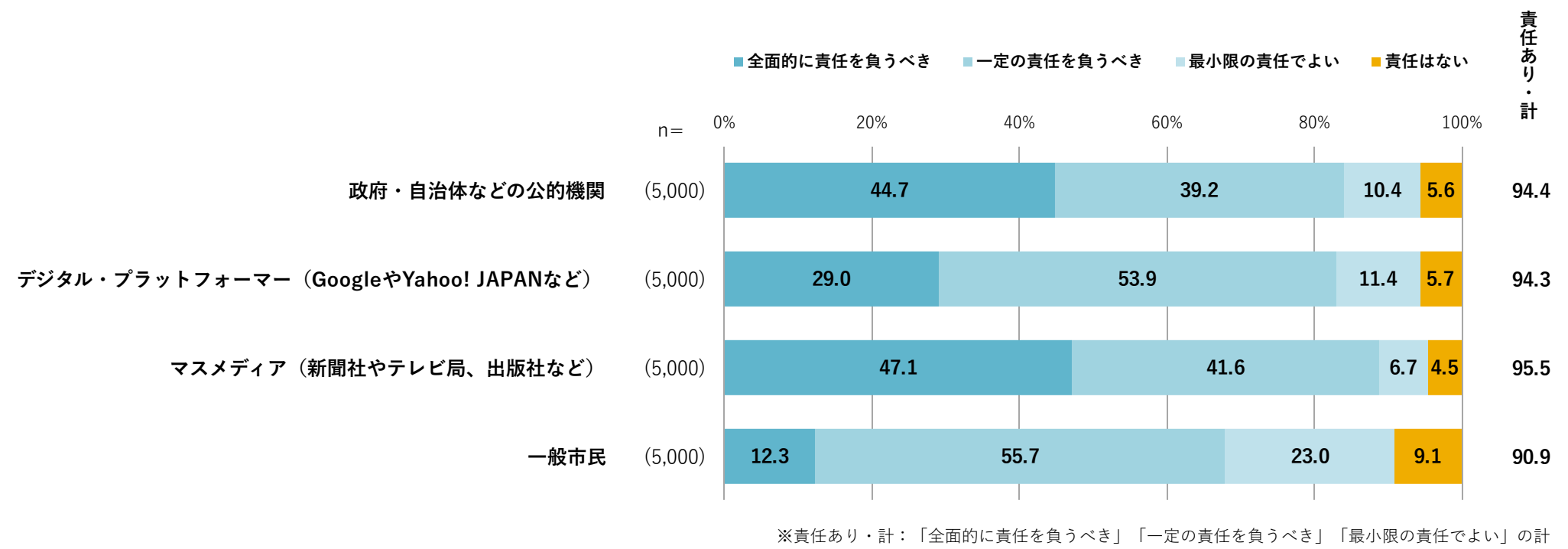
【電子契約法】電子契約に関する法律は、オンラインでの取引において虚偽の情報が用いられた場合に適用されます。特に、電子商取引における透明性を確保するための規定があります。

【個人情報保護法】この法律は、個人情報の取り扱いに関する規制を定めています。偽情報が個人情報を不正に利用する場合、法的措置が取られる可能性があります。

【SNSプラットフォームの偽情報の投稿禁止規約】多くのSNSプラットフォームは、ユーザーが偽情報を投稿することを禁止する独自の利用規約を設けています。これに違反した場合、アカウントの停止や削除がおこなわれることがあります。

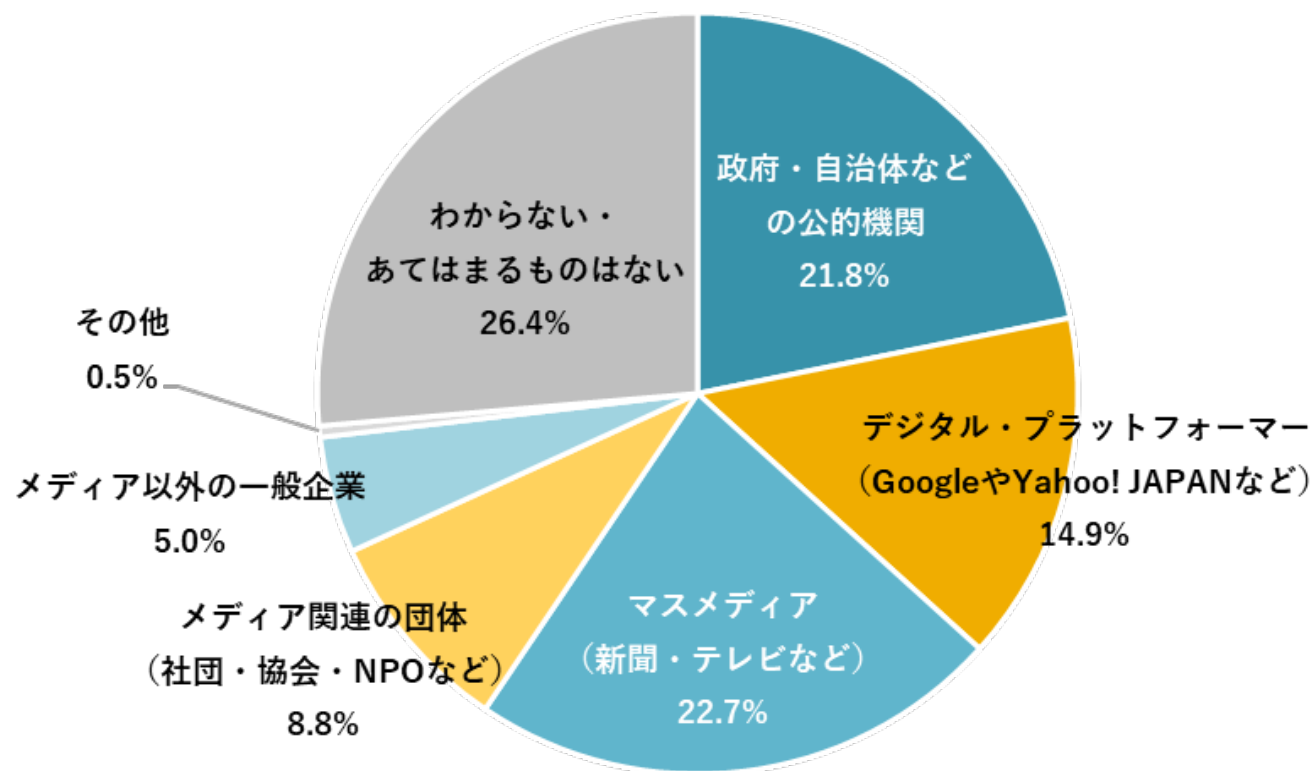
偽・誤情報の蔓延に対する責任の程度

Q30 偽・誤情報の蔓延に対して以下のそれぞれはどの程度責任を負うべきだと思いますか。（各SA）



偽・誤情報の悪影響へ対策する主体

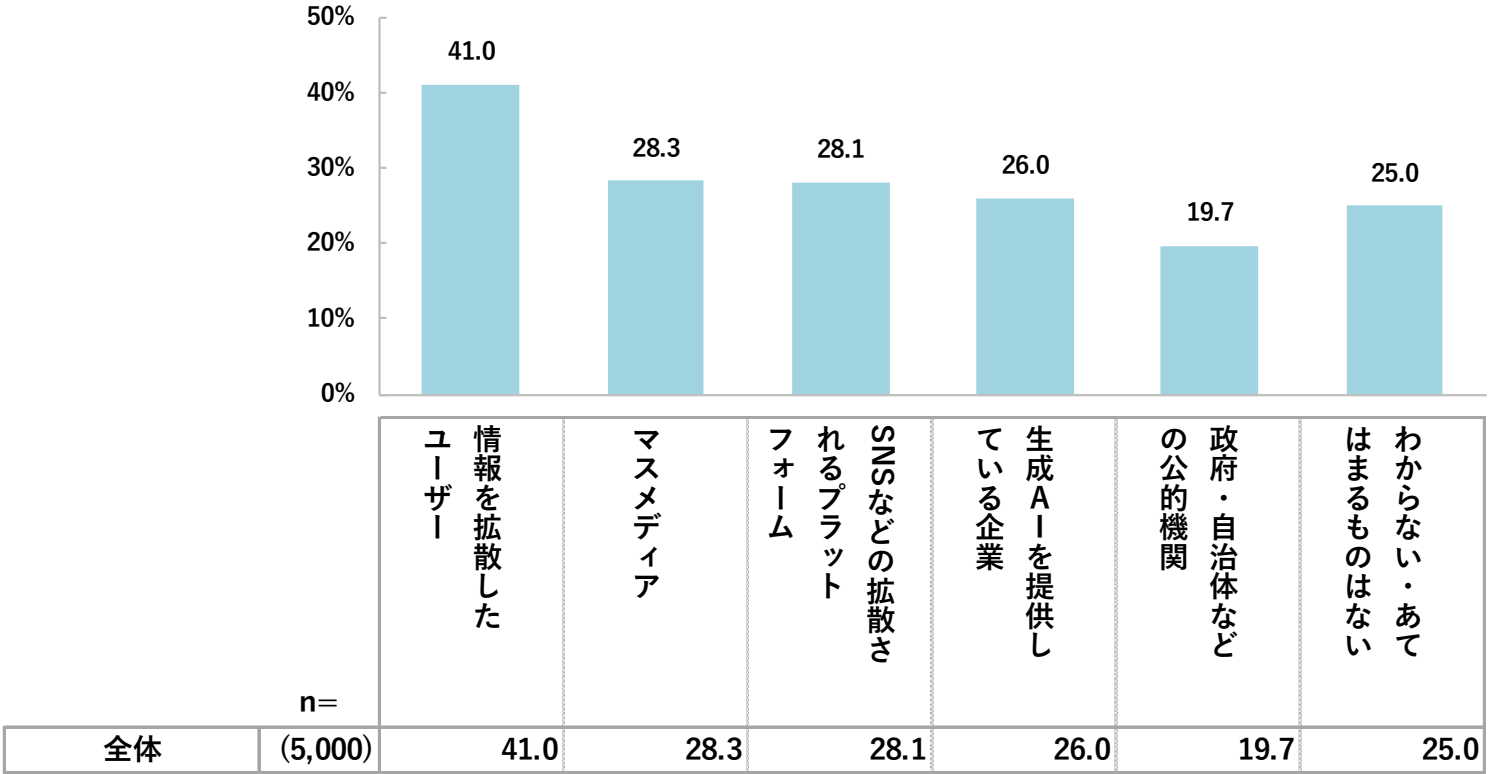
Q31 偽・誤情報に関する悪影響や被害について対策するのは、主にどの主体だと思いますか。（SA）



n=5,000

生成AIで作成された悪意ある偽情報への責任

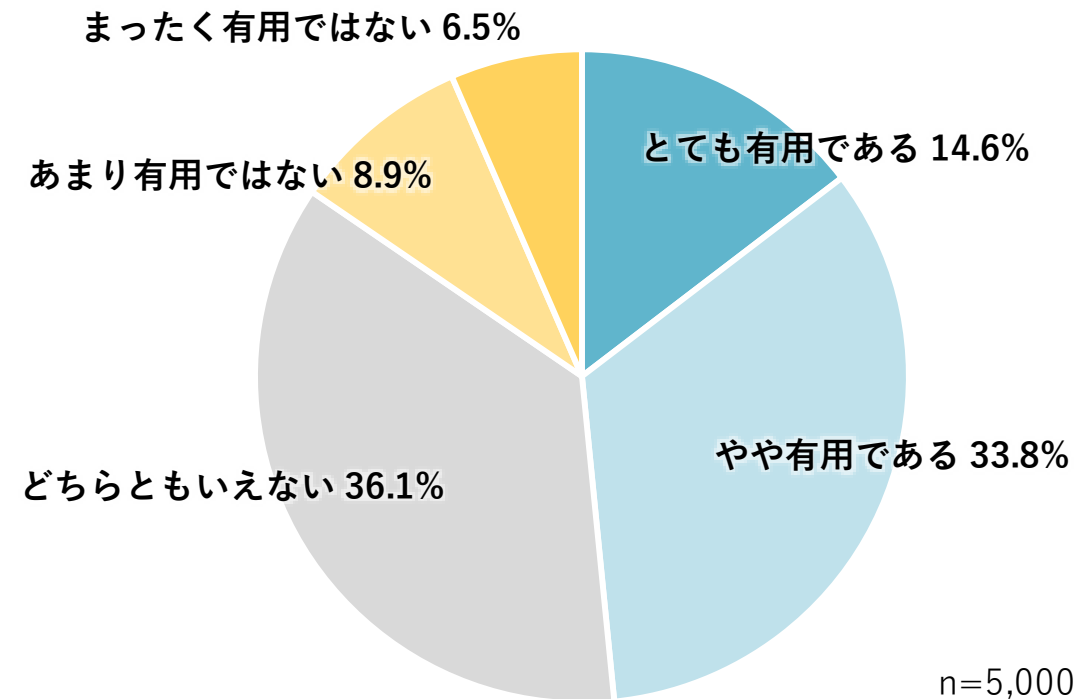
Q32 生成AIで生成された悪意ある偽情報（文言、写真、動画、音声など）について、偽情報作成者以外に誰が責任を負うべきでしょうか。
あなたのお気持ちに近いものをすべてお知らせください。（MA）



※降順ソート

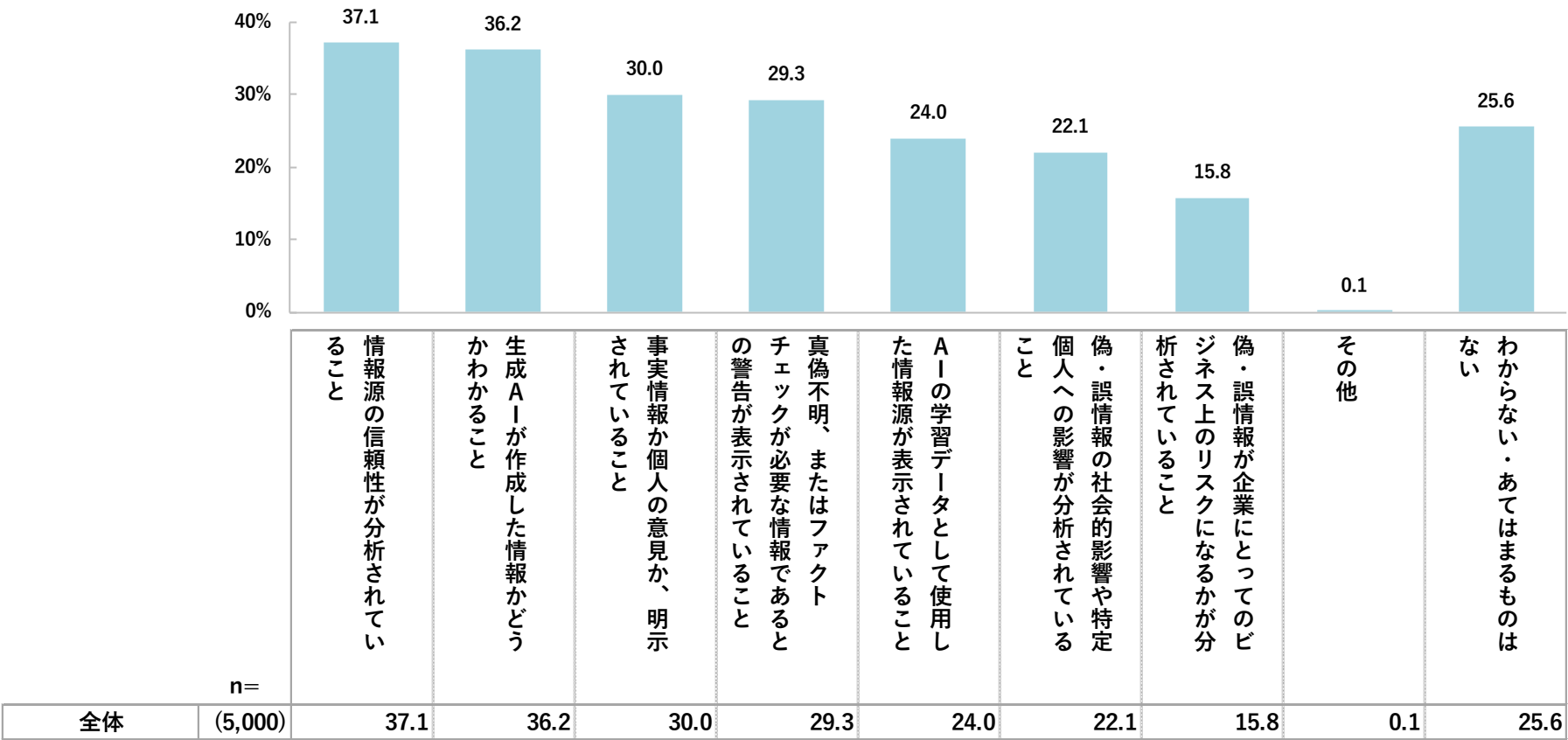
生成AIで作成された情報をAIで判別する機能への期待

Q33 生成AIによって作成された情報（文言、写真、動画、音声など）かどうか、生成AI自身に判定させる機能が誰でも使えたら有用だと思いますか。
あなたのお気持ちに近いものをお知らせください。（SA）



AIを活用した偽・誤情報の分析で重視すること

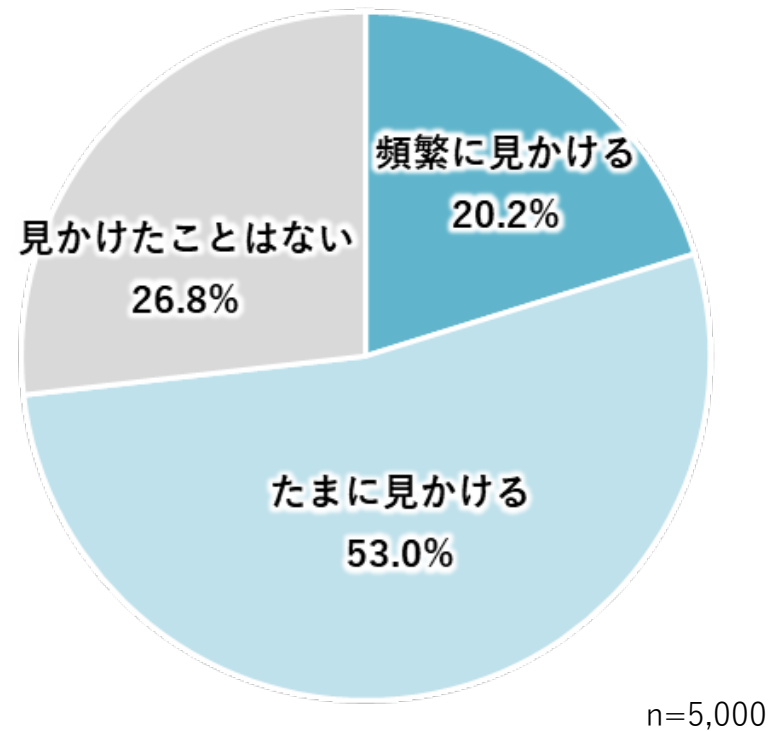
Q34 AIを活用して自分で偽・誤情報を分析するとしたら、どのようなことを重視しますか。
あなたのお気持ちに近いものをすべてお知らせください。（MA）



※降順ソート

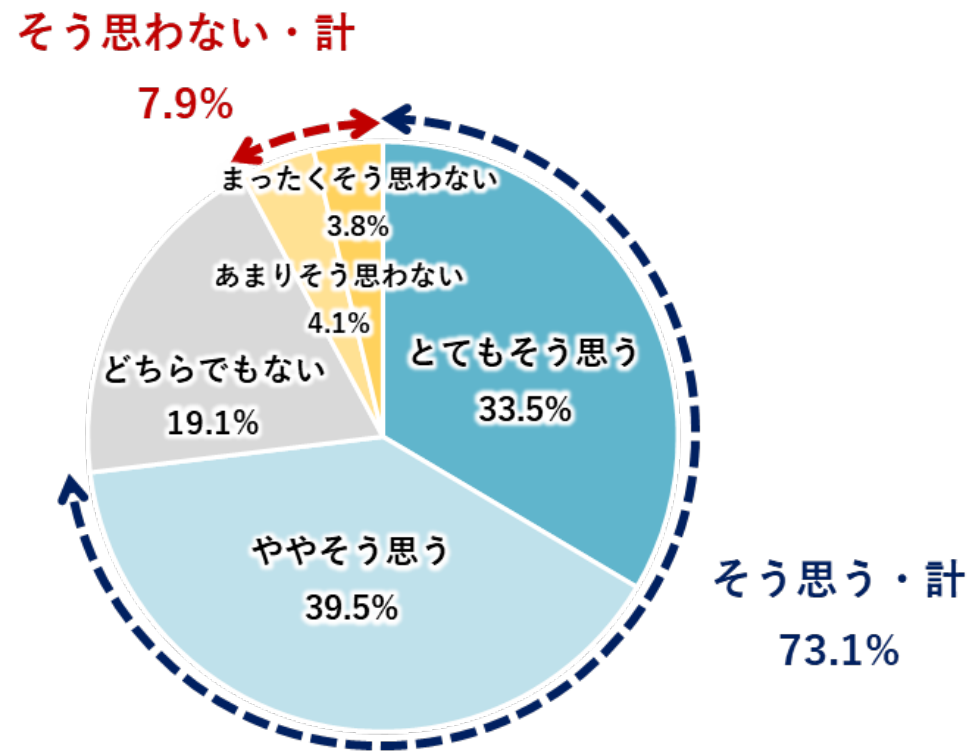
オンライン上の差別表現・誹謗中傷

Q35 オンライン上の差別表現や誹謗中傷をあなたは見かけたことがありますか。（SA）



差別表現・誹謗中傷への対応強化の必要性

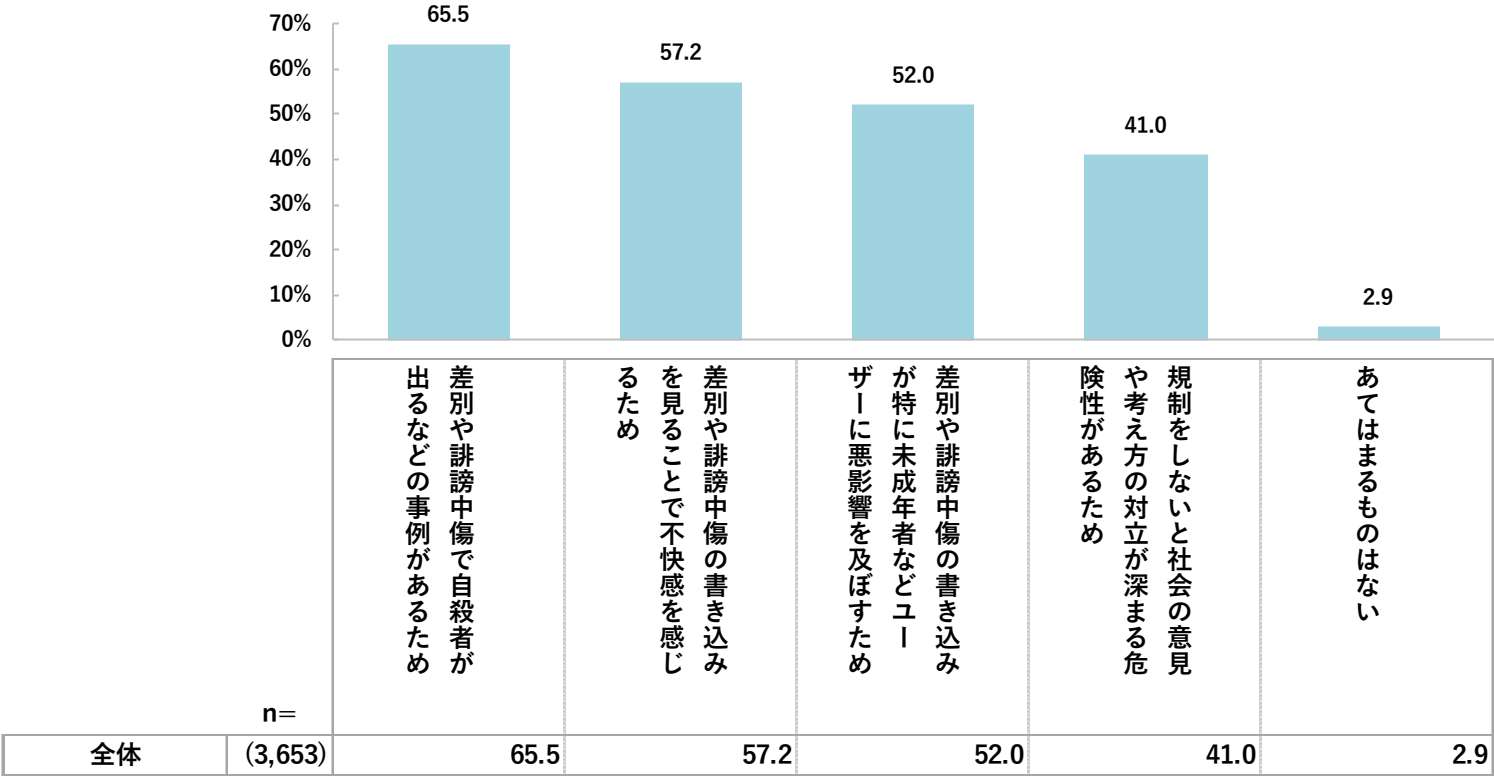
Q36 偽情報や誤情報だけでなく、オンライン上の差別表現や誹謗中傷に対し、法規制や自主規制など何らかの対応を強化すべきだと思いますか。あなたのお気持ちに近いものをお知らせください。（SA）



※そう思う・計：「とてもそう思う」「ややそう思う」の計
そう思わない・計：「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計 n=5,000

差別表現・誹謗中傷への規制強化をするべき理由

Q37 先ほど、オンライン上の差別表現や中傷への規制などを「対応強化をするべきである」とお答えになった方にお伺いいたします。
差別表現や誹謗中傷の規制などに関して、そのように考える理由としてあてはまるものをすべてお知らせください。（MA）

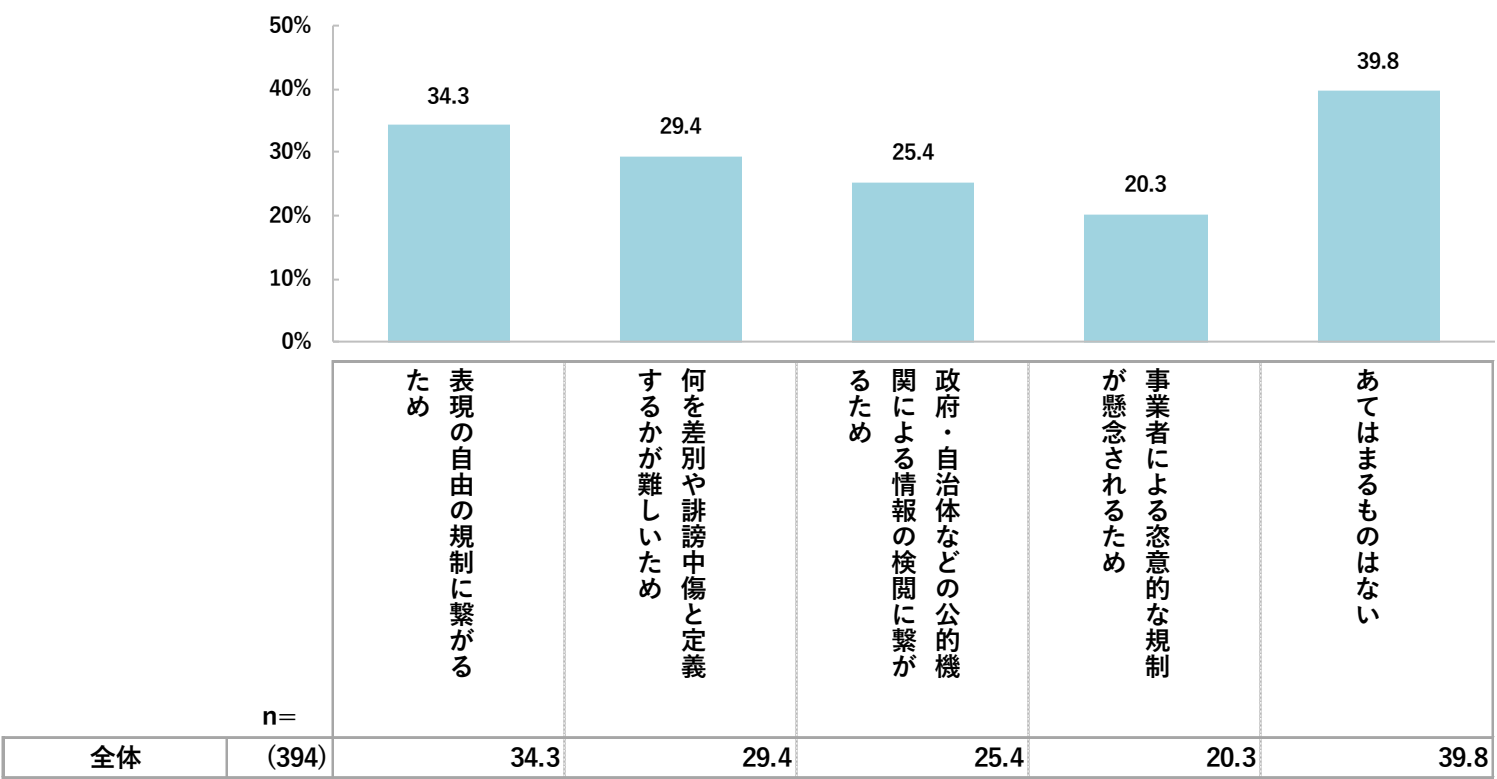


※降順ソート

【基数：誹謗中傷対策強化推進者】

差別表現・誹謗中傷への規制強化をするべきではない理由

Q38 先ほど、オンライン上の差別表現や中傷への規制などを「対応強化をするべきではない」とお答えになった方にお伺いいたします。
差別表現や誹謗中傷の規制などに関して、そのように考える理由としてあてはまるものをすべてお知らせください。（MA）

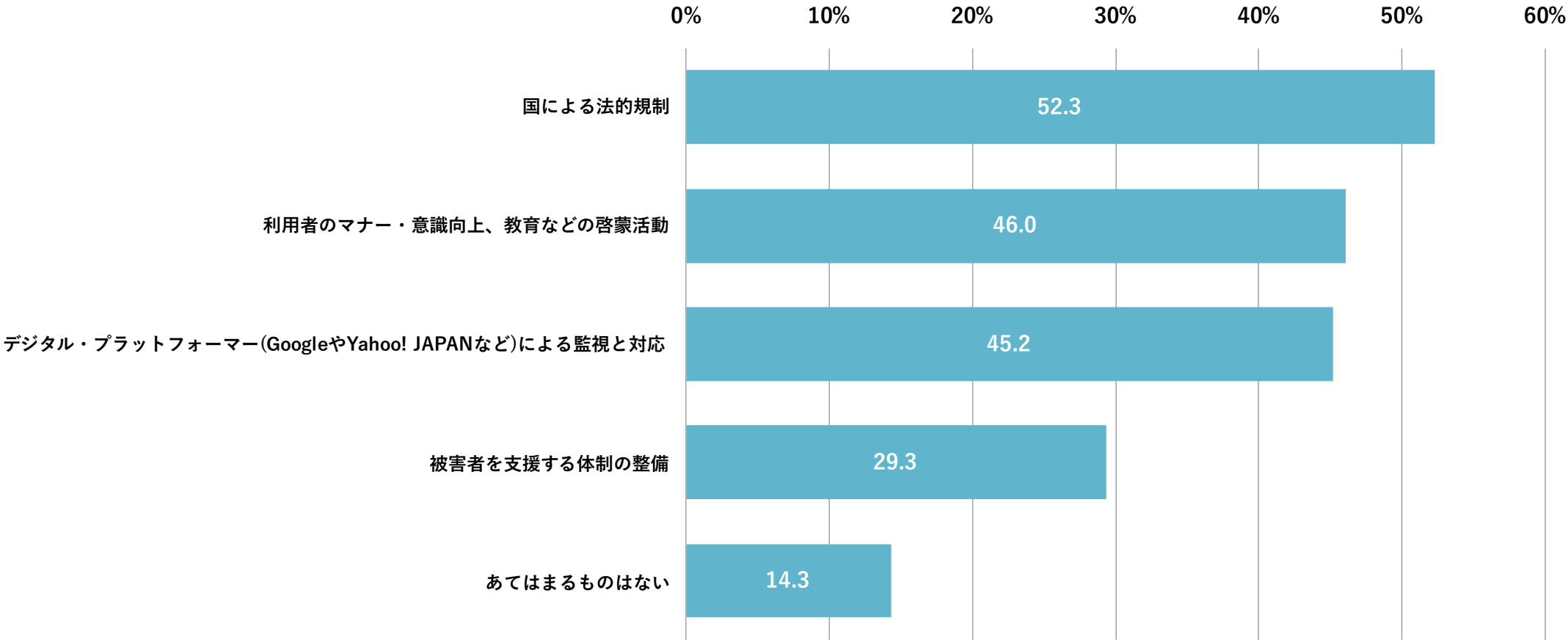


※降順ソート

【基数：誹謗中傷対策強化非推進者】

差別表現・誹謗中傷への規制に求められる方策

Q39 オンライン上の差別表現や中傷への規制をする場合、どのような方策が望ましいと思いますか。（MA）



※降順ソート

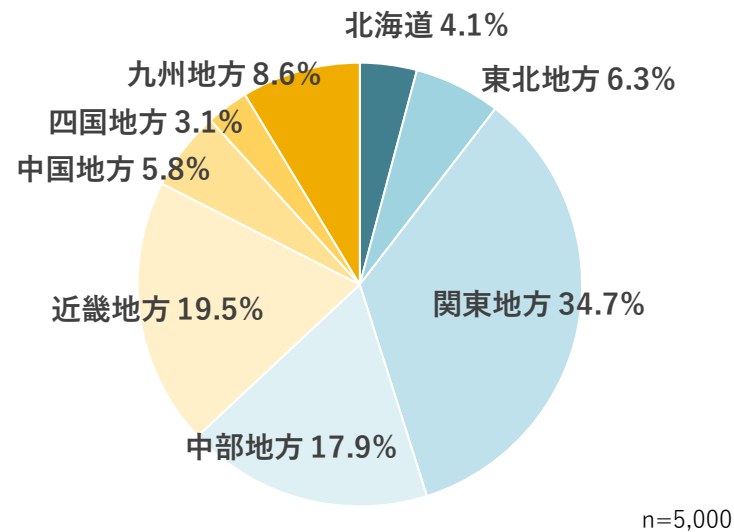
【基数：対象者全員】



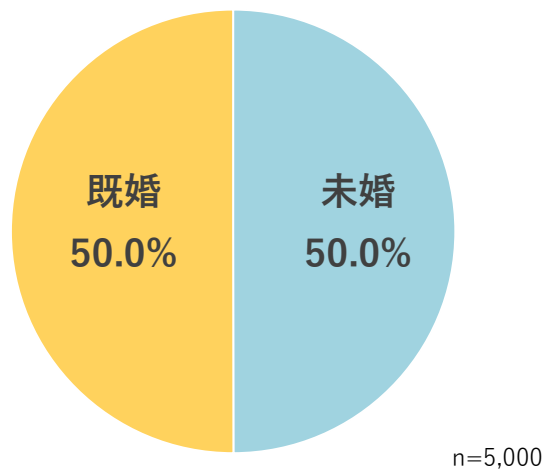
回答者プロフィール
および
予備調査で提示した偽・誤情報関連データ

居住地（地域）／未婚／子どもの有無

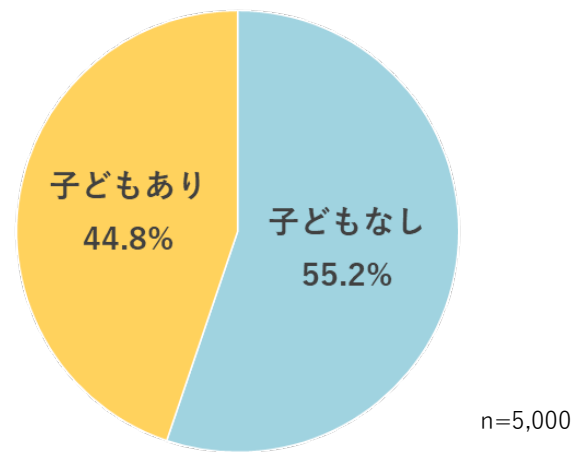
居住地



未婚

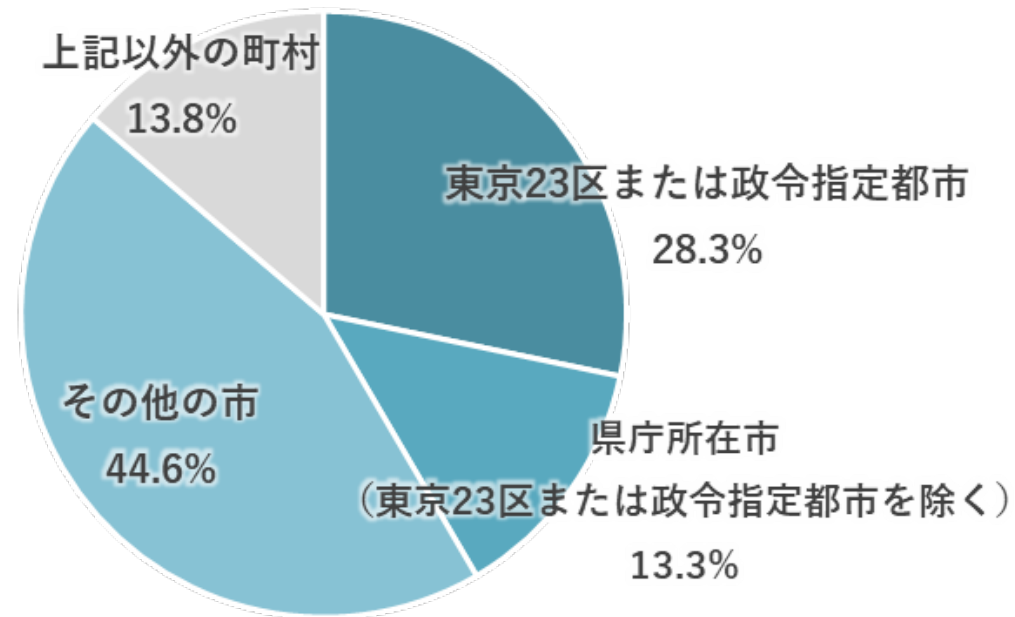


子どもの有無



居住地（市区町村）

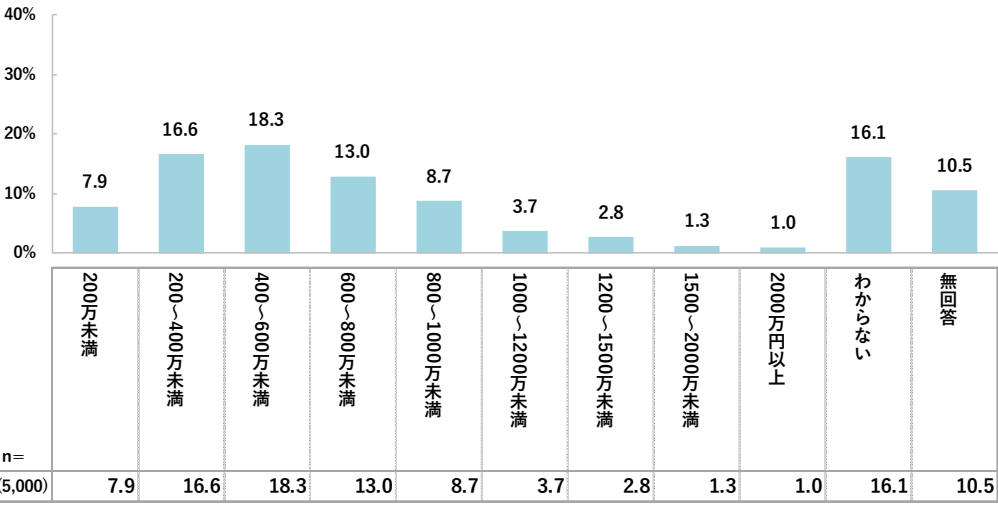
SQ2 あなたのお住まいの地域はどのようなところですか。以下の中からわかるものを1つだけ選んでください。
※政令指定都市とは、札幌市、仙台市、千葉市、さいたま市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市を指します。（SA）



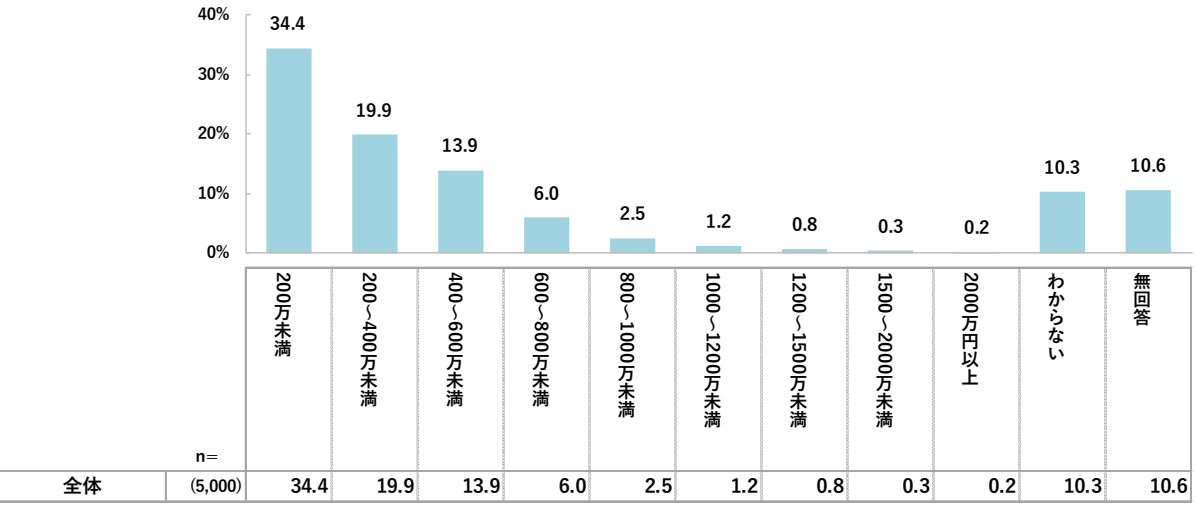
n=5,000

年収／職業

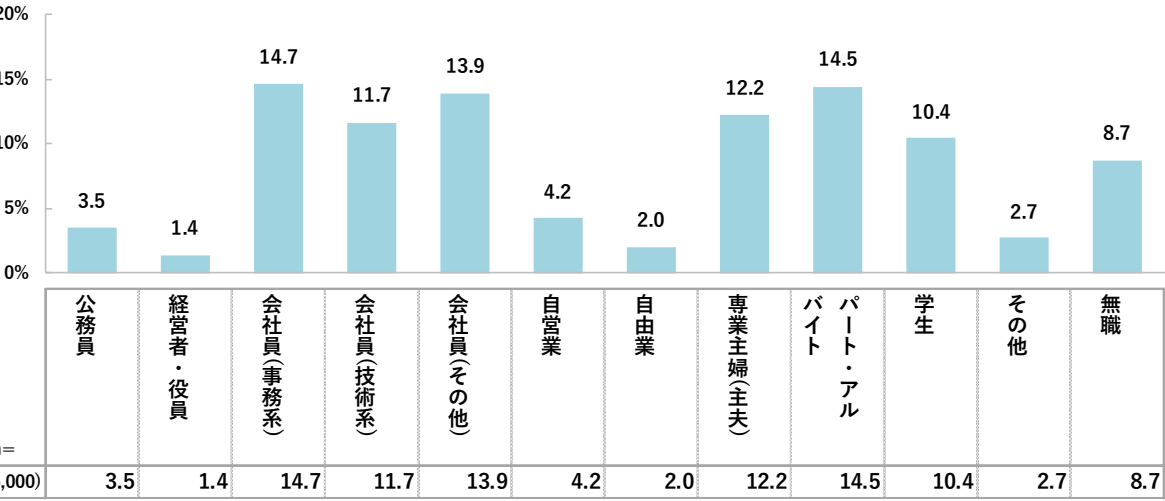
世帯年収



個人年収

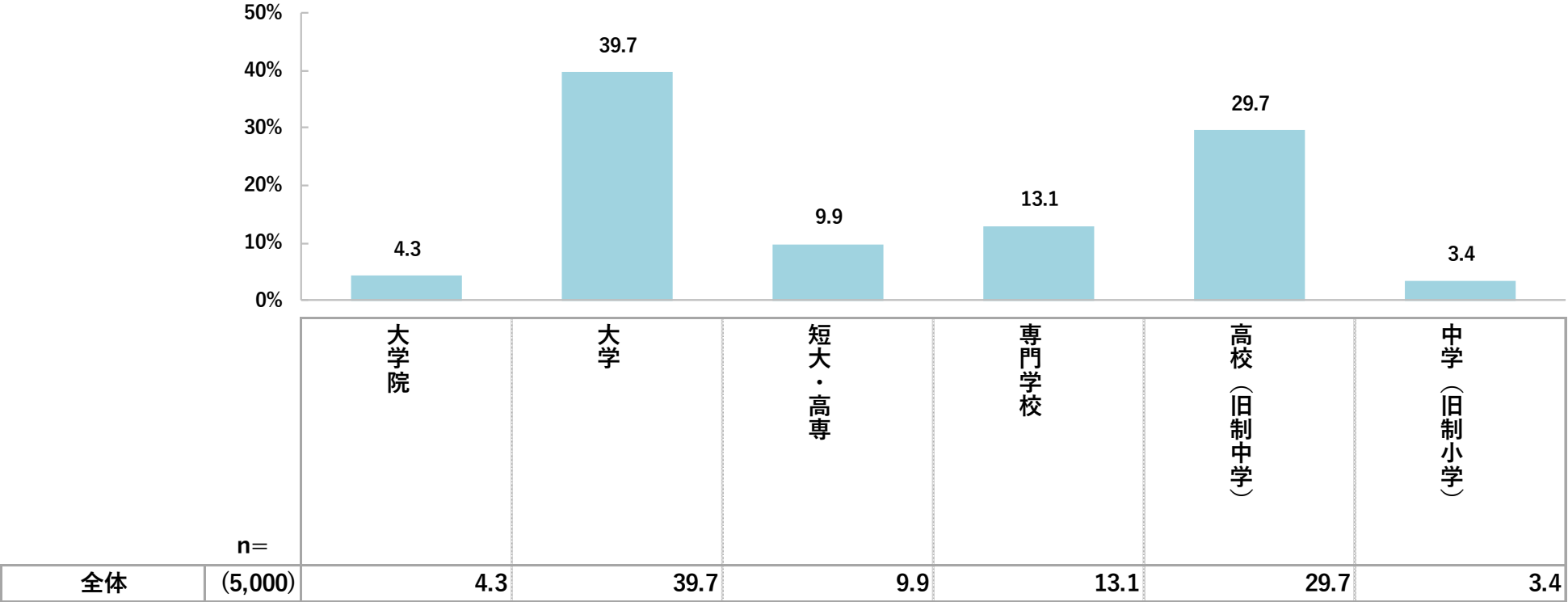


職業



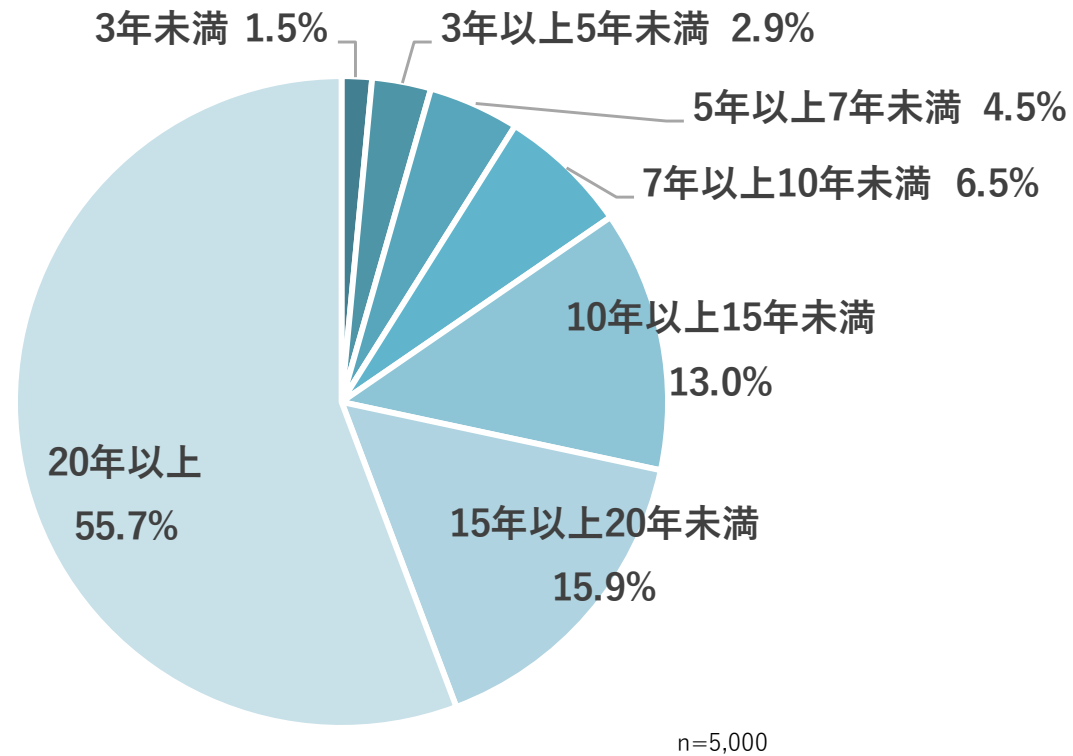
最終学歴（現在所属含む）

Q40 あなたが最後に卒業した学校について、もっとも近いものを1つお選びください。
ただし、現在学生の場合は、現在所属している学校をお選びください。（各SA）



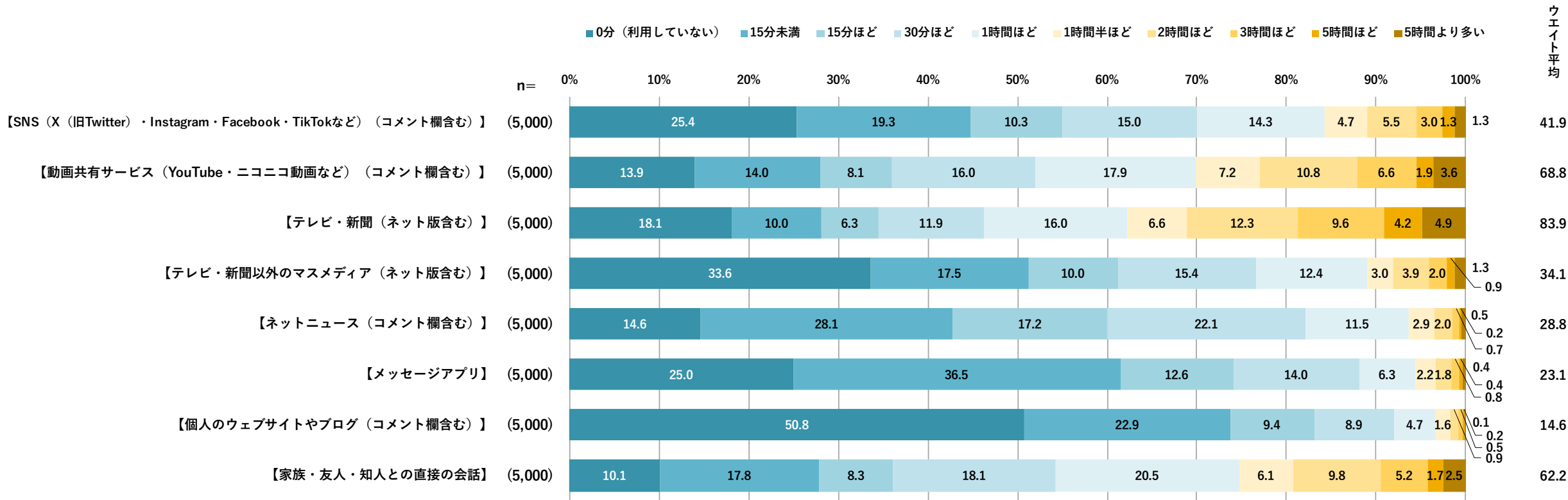
インターネット使用期間

SQ3 あなたはインターネットを使い始めてからどれくらい経ちますか。
最も近いものを1つお選びください。（SA）



各サービス1日あたりの利用時間

SQ4 あなたは、以下のサービスや会話に日頃どれくらいの時間を費やしていますか。
平日・休日を含めて、平均して1日あたり費やしている時間を教えてください。
日頃行っていない場合は0分をお選びください。（各SA）



※ウェイト平均は、各選択肢ごとに「0分（利用していない）」は0、「15分未満」は14、「15分ほど」は15、「30分ほど」は30、「1時間ほど」は60、「1時間半ほど」は90、「2時間ほど」は120、「3時間ほど」は180、「5時間ほど」は300、「5時間より多い」は360と分数換算で各項目を数値化し、回答者の平均値を割り出したものです。

予備調査で提示した偽・誤情報

予備調査（SCR）の設問で提示した15の偽・誤情報

【2024年に日本ファクトチェックセンターが検証した偽・誤情報より抽出】

【医療・健康】

1. 自閉症の発症と麻疹のワクチン接種には関連がある
2. 世界保健機関（WHO）でパンデミック条約が採択されると、ワクチンを強制接種させられるようになる
3. 世界保健機関（WHO）事務局長が、2024年になって「新型コロナに効くワクチンはない」と言った

【経 済】

4. ヨーロッパの平均時給は日本円に換算して、ノルウェー 8,472円、フランス 6,889円、ドイツ 6,744円である
5. 財務大臣が「円安の元凶と見てる」と発言し、新NISA（少額投資非課税制度）が規制された
6. 偽造マイナンバーカードによる事件件数は2,508件、被害額は334億円である

【災 害】

7. 東京・神奈川で発生した震度4の地震前に不自然な雲が多く発生していた
8. イワシやクジラの海岸への大量漂着は、地震の前兆または影響である
9. 能登半島地震後、地盤隆起の影響で消波ブロックが波打ち際で船の障害物となった

【政 治】

10. 兵庫県斎藤知事の公約実現率は98.8%である
11. 難民申請中は強制送還できないよう入管法を改正したのは民主党政権である
12. 前首相が「日本人は10%で残りの90%は移民や不法難民で構わない」と発言した

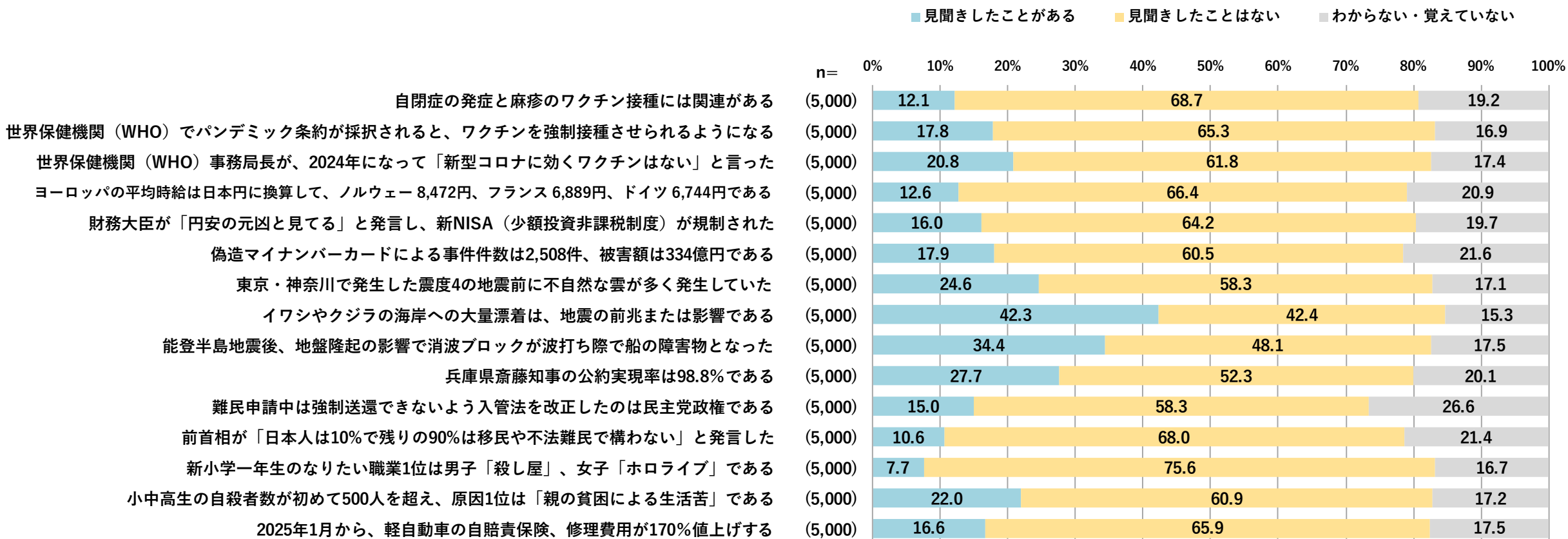
【生 活】

13. 新小学一年生のなりたい職業1位は男子「殺し屋」、女子「ホロライブ」である
14. 小中高生の自殺者数が初めて500人を超え、原因1位は「親の貧困による生活苦」である
15. 2025年1月から、軽自動車の自賠責保険、修理費用が170%値上げする

※ 「見聞きしたことがある」「見聞きしたことはない」「わからない・覚えていない」の選択肢から、すべて「わからない・覚えていない」と回答した人を対象者から除き、いずれか「見聞きしたことがある」と回答した人を優先して2025年1月総務省人口推計概算値より性年代別人口構成比に合わせて割り当て、本調査を実施

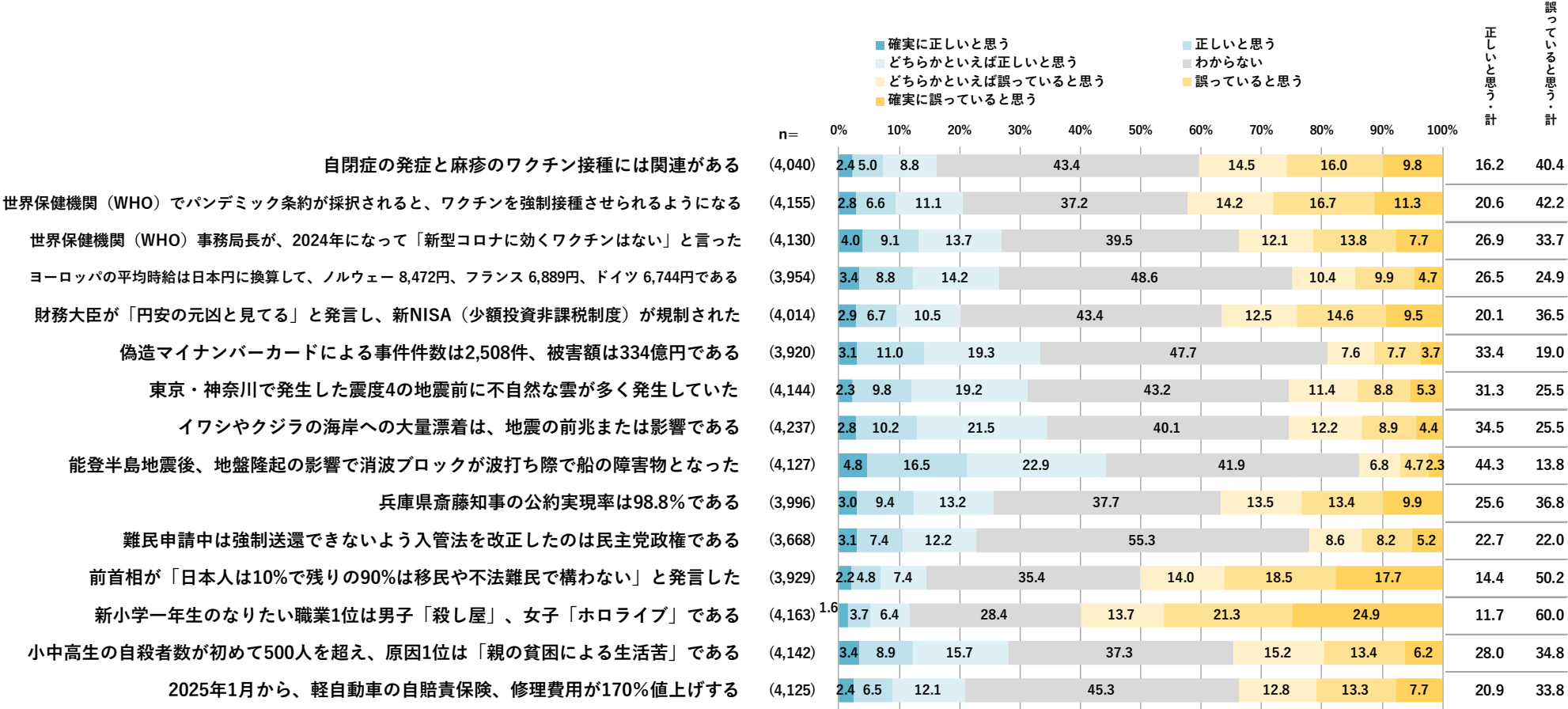
予備調査で提示した偽・誤情報への接触の有無

SQ5 あなたは、以下の情報・ニュースを見聞きしたことがあるでしょうか。
正しい情報・ニュースかどうかにかかわらず、それぞれ1つずつお選びください。（各SA）



予備調査で提示した偽・誤情報についての真偽の受け取り

SQ6 以下の情報・ニュースについて、その真偽をどのように考えていますか。あなたの考えにもっとも近いものを、それぞれ1つずつお選びください。（各SA）



※正しいと思う・計：「確実に正しいと思う」「正しいと思う」「どちらかといえば正しいと思う」の計
※誤っていると思う・計：「どちらかといえば誤っていると思う」「誤っていると思う」「確実に誤っていると思う」の計

【基数：各情報・ニュースにおいて「わからない・覚えていない」を選択した者を除く（認知者+非認知者）】

電通総研コンパス vol.15 情報インテグリティ調査

2025年6月

➤ 本調査内容に関するお問い合わせ先
qsociety@dentsusoken.com
担当：山崎、中川、川村、合原

